

高齢者実態調査報告書

《介護保険サービス利用者・未利用者調査・介護者調査》
(案)

令和元年●月

大阪市

目次

1	調査概要	1
	(1) 調査目的	1
	(2) 調査設計	1
	(3) 調査項目	1
	(4) 回収状況	2
	(5) 報告書の見方	3
2	サービス利用者調査結果	5
	(1) 調査回答者の基本属性	5
	問1 記入者	5
	問2 (1) 本人の性別	5
	問2 (2) 本人の年齢	6
	問2 (3) 本人の居住区	7
	問3 要介護度	7
	(2) 世帯の状況	8
	問4 世帯状況	8
	問5 介護者の有無	10
	(3) 要介護認定	12
	問6 初めて要介護認定を受けた時の目的	12
	問6-1 介護認定を受けた主な原因や病気	13
	問6-2 要介護認定を受けるよう勧めた人	15
	問7 直近の要介護認定で不満の有無	16
	問7-1 要介護度認定に不満がある理由	16
	(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	17
	問8 現在の住まい	17
	問8-1 現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス	18
	問8-2 現在入所（入居）している施設	21
	問8-3 施設等の入所（入居）を希望した理由	22
	問8-4 現在の施設等に入所（入居）してからの期間	24
	問9 医療従事者などの訪問有無	25
	問9-1 訪問される医療従事者	26
	問10 介護支援専門員の満足度	28
	問11 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度	29
	問12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向	30
	問12-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向	32
	問12-2 現在利用していない施設サービスの利用意向	35
	(5) 介護予防の取り組み	37
	問13 介護予防に対する意識の程度	37

問 14	介護予防の取り組み状況	38
問 14-1	取り組み意向のある介護予防	40
問 14-2	介護予防の取り組みに意向がない理由	45
3	サービス未利用者調査結果	47
(1)	調査回答者の基本属性	47
問 1	記入者	47
問 2 (1)	本人の性別	47
問 2 (2)	本人の年齢	48
問 2 (3)	本人の居住区	49
問 3	要介護認定の有無	49
問 3-1	要介護度	50
(2)	世帯の状況	51
問 4	世帯状況	51
問 5	介護者の有無	53
(3)	要介護認定	54
問 6	初めて要介護認定を受けた時の目的	54
問 6-1	介護認定を受けた主な原因や病気	55
問 6-2	要介護認定を受けるよう勧めた人	57
問 7	直近の要介護認定で不満の有無	58
問 7-1	要介護度認定を受けた時の不満な理由	58
(4)	介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え	59
問 8	介護保険サービスの利用状況	59
問 8-1	以前利用していた介護保険サービス	61
問 9	現在、介護保険サービスを利用していない理由	64
問 10	医療従事者などの訪問有無	66
問 10-1	訪問される医療従事者	67
問 11	介護保険サービスの利用意向	69
問 12	利用したい居宅サービス	71
問 13	利用したい施設サービス	74
問 14	現時点での施設等への入所・入居の検討状況	75
(5)	介護予防の取り組み	76
問 15	介護予防に対する意識の程度	76
問 16	介護予防の取り組み状況	77
問 16-1	取り組み意向のある介護予防	78
問 16-2	介護予防の取り組みに意向がない理由	82
4	介護者調査結果	85
(1)	介護者の基本属性	85
問 15[18]	本人との関係	85
問 16[19] (1)	介護者の性別	89
問 16[19] (2)	介護者の年齢	91
問 16[19] (3)	同居有無	95

付問 16[19] (3) 介護者の居住地	99
問 17[20] 介護者の健康状態	100
(2) 介護の状況	101
問 18[21] 1日平均の介護時間	101
問 19[22] 介護者がよく話をする相手	104
問 20[23] 介護を手助けしてくれる人の有無	105
問 21[24] 本人の認知症の程度	107
問 22[25] 本人に行っている介護内容	113
問 23[26] 自宅での介護で毎月もっとも必要とするもの	121
(3) 介護上の問題	122
問 24[27] 自宅での介護で困っていること	122
問 25[28] 自宅での介護で本人に対して行ってしまったこと	128
問 26[29] 相談窓口の利用状況	140
問 26-1[30] 自宅での介護で困った時の相談先	142
問 27 本人が介護保険サービスを利用することによる介護者の変化	144
問 28 本人が利用している介護保険サービスに対する介護者の満足度	145
[問 31] 本人に対する介護保険サービスの利用意向	147
[問 32] 介護保険サービスを利用しようと思う本人の状態	148
[問 33] 介護保険サービスを利用しようと思う介護者の状態	149
問 29[34] 自宅での介護で重要なこと	150
(4) 介護離職に関する問題	152
問 30[35] 介護者の就業状況	152
問 31[36] 介護をするにあたって行っている働き方の調整	167
問 32[37] 仕事を続けるにあたって必要な介護保険サービス	168
問 32-1[37-1] 仕事を続けるのに必要な居宅サービス	172
問 32-2[37-2] 仕事が続けることができる施設サービス	188
問 33[38] 仕事を続けるにあたって不安なこと	194
問 34[39] 働きながら介護を続けることの意向	198
問 35[40] 現在の生活を継続していくにあたって不安に感じる介護	199

1 調査概要

(1) 調査目的

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者及びその介護者を対象に、介護保険サービスの利用状況と利用意向、介護の状況などを把握し、大阪市における今後の高齢者施策及び介護保険事業の運営に資する基礎資料を得ることを目的に実施した。

(2) 調査設計

① 調査地域：大阪市内全域

② 調査対象：

I 介護保険サービス利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、平成31年1月から3か月の間、介護サービスを利用した方から無作為抽出した 5,200人

II 介護保険サービス未利用者

大阪市内に居住する要支援・要介護認定者で、平成31年1月から3か月の間、介護サービスを利用しなかった方から無作為抽出した 5,600人

III 介護者

上記 I・II の対象者を介護している者（介護サービス事業者を除く）

③ 調査方法：郵送配布、郵送回収

④ 調査期間：令和元年7月8日（月）から令和元年7月31日（水）

(3) 調査項目

〔1〕 介護保険サービス利用者

① 調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度

② 世帯の状況

世帯状況、介護者の有無

③ 要介護認定

要介護認定の状況

④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

現在の住まい、現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス、介護保険施設の入所（入居）の状況、医療サービスの状況、介護支援専門員や介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度、介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

⑤ 介護予防の取り組み

介護予防に対する意識の程度、介護予防の取り組み状況

⑥ 介護保険制度についての意見・要望等

自由記述

〔2〕 介護保険サービス未利用者

① 調査回答者の基本属性

記入者、本人の性別・年齢・居住区、要介護度

- ② 世帯の状況
世帯状況、介護者の有無
- ③ 要介護認定
要介護認定の状況
- ④ 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え
介護保険サービスの利用状況、介護保険サービスの未利用理由、医療サービスの状況、
介護保険サービスの利用意向、利用したい介護保険サービス
- ⑤ 介護予防の取り組み
介護予防に対する意識の程度、介護予防の取り組み状況
- ⑥ 介護保険制度についての意見・要望等
自由記述

〔3〕 介護者

- ① 介護者の基本属性
本人との関係、介護者の性別・年齢、同居有無、介護者の健康状態
- ② 介護の状況
1日平均の介護時間、介護者の話し相手、介護を手助けしてくれる人の有無、本人の
認知症の程度、本人に行っている介護内容、自宅での介護で毎月必要とするもの
- ③ 介護上の問題
介護で困っていること、虐待の有無、相談窓口の利用状況、介護で困った時の相談先、
介護保険サービス利用による介護者の変化・満足度【利用者調査のみ】、介護者が考える
介護保険サービスの利用意向【未利用者調査のみ】、自宅での介護で重要なこと
- ④ 介護離職に関する問題
介護者の就業状況、介護と働き方の調整、仕事を続けるにあたって必要な介護保険サー
ビス、仕事を続けるにあたって不安なこと、働きながら介護を続けることの意向、現在の
生活を継続していくにあたって不安に感じる介護
- ⑤ 介護保険制度についての意見・要望等
自由記述

（4）回収状況

〔1〕 介護保険サービス利用者調査

調査対象者	回収数	集計対象外数	有効回答数	有効回答率
(a)	(b)	(c)	(d)=(b)-(c)	(e)=(d)/(a)
6,040	2,891	222	2,669	44.2%

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したもの）

現在介護保 険サービ スを利用し ていない	病院に 入院中	本人の意思 が確認でき ない	転居	死亡	その他	白票	計
26	68	97	5	22	2	2	222

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階
402	796	302	268	243	162	161	184	89	27	35
15.1%	29.8%	11.3%	10.0%	9.1%	6.1%	6.0%	6.9%	3.3%	1.0%	1.3%

〔2〕介護保険サービス未利用者調査

調査対象者	回収数	集計対象外数	有効回答数	有効回答率
(a)	(b)	(c)	(d)=(b)-(c)	(e)=(d)/(a)
6,440	2,939	991	1,948	30.2%

※集計対象外数の内訳（調査票の返送があったが、下記の理由により集計対象から外したもの）

現在介護保険サービスを利用して いる	病院に 入院中	本人の意思 が確認でき ない	転居	死亡	その他	白票	計
492	390	19	6	73	4	7	991

【介護保険料段階】有効回答数を全体とした各段階の人数（上段）と割合（下段）

第1段階	第2段階	第3段階	第4段階	第5段階	第6段階	第7段階	第8段階	第9段階	第10段階	第11段階
116	521	233	208	229	162	162	168	102	25	22
6.0%	26.7%	12.0%	10.7%	11.8%	8.3%	8.3%	8.6%	5.2%	1.3%	1.1%

〔3〕介護者調査

	回答数
介護保険サービス利用者調査	1,208
介護保険サービス未利用者調査	1,174

（5）報告書の見方

- ① 回答は、各質問の回答者数（n）を基数とした百分率（%）で示し、小数点第2位を四捨五入した。（比率の合計が100.0%にならない場合がある。）
- ② 図表上の「MA%」という表記は複数回答（Multiple Answer の略）の、また、「LA%」という表記は制限つき複数回答（Limited Answer の略）の意味である。
- ③ コンピュータ入力の都合上、図表において、回答選択肢の見出しを簡略化している場合がある。
- ④ 報告書記載の「前回調査」とは、平成28年7月実施の高齢者実態調査の結果を示している。

介護サービス利用者調査 編

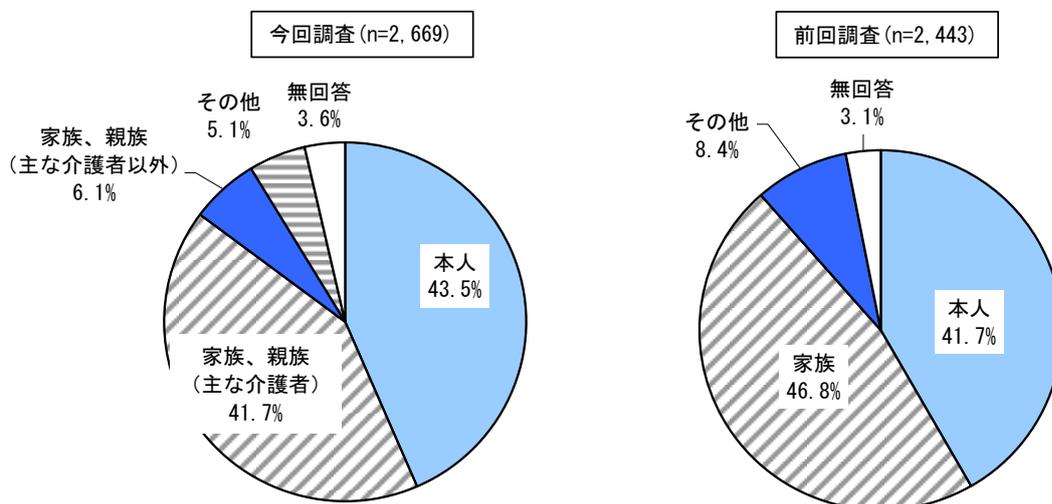
2 サービス利用者調査結果

(1) 調査回答者の基本属性

問1 記入者

この調査票をご記入されるのは誰ですか。(○はひとつ)

【図1 記入者（経年比較）】

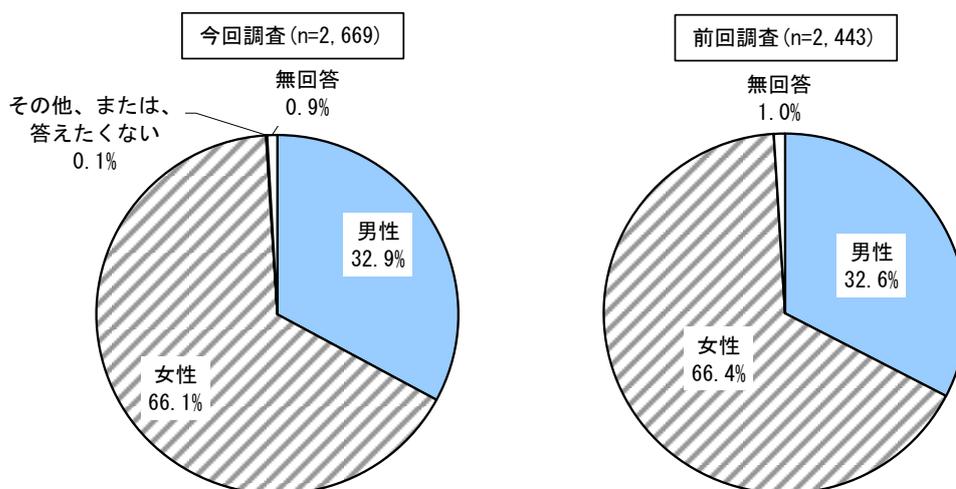


記入者は、「本人」が43.5%、「家族、親族（主な介護者）」が41.7%となっている。
前回調査とは選択肢が異なるので一概に比較できないが、参考としてみると、「本人」の割合が1.8ポイント高くなっている。(図1)

問2 (1) 本人の性別

あなたの性別、年齢、居住区についておうかがいします。(それぞれ○はひとつ)

【図2(1) 本人の性別（経年比較）】

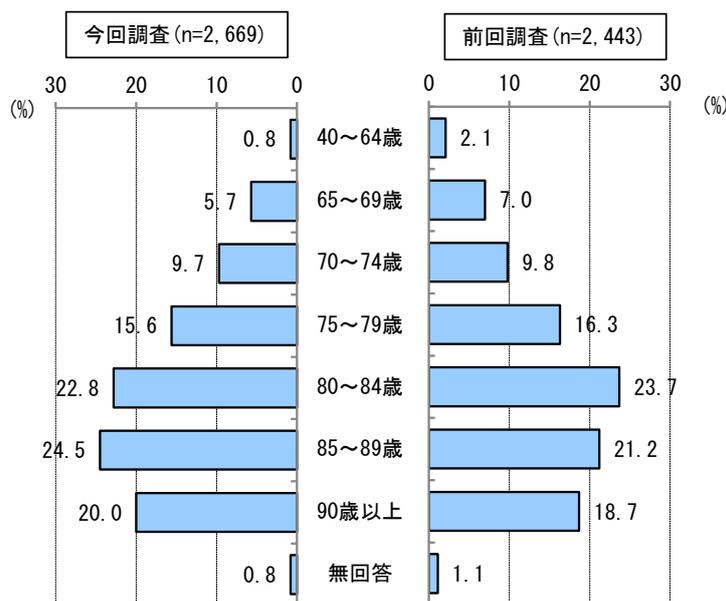


※「その他、または、答えたくない」は、今回調査の新規項目である。

本人の性別では、男性が32.9%、女性が66.1%となっている。
前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図2(1))

問2 (2) 本人の年齢

【図2(2) 本人の年齢 (経年比較)】

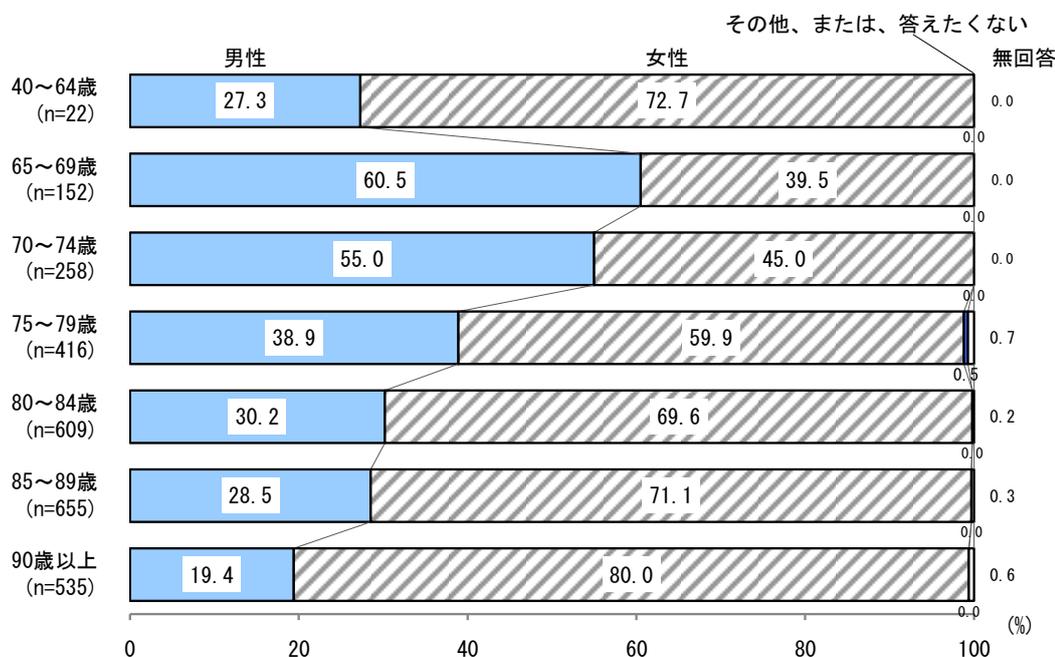


本人の年齢では、「85~89歳」が24.5%で最も多く、次いで「80~84歳」が22.8%、「90歳以上」が20.0%となっている。

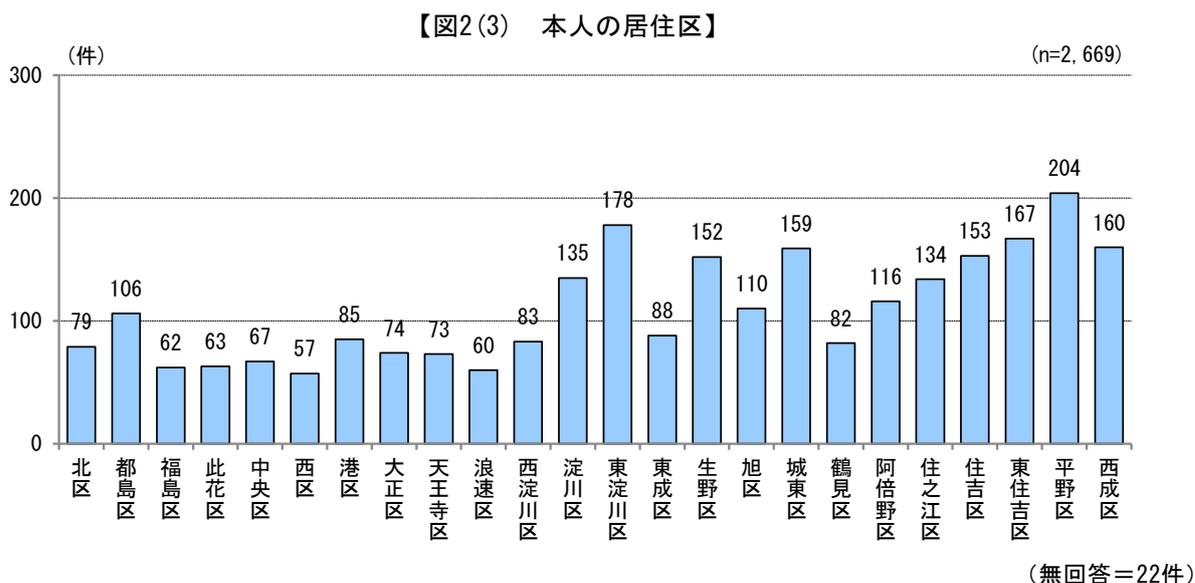
前回調査と比較すると、「85~89歳」の割合が3.3ポイント高くなっている。(図2(2))

本人の性別でみると、65~69歳と70~74歳の回答者は「男性」のほうが多く、40~64歳や75歳以上の各年代の回答者は「女性」のほうが多くなっている。(図2(2)-a)

【図2(2)-a 本人の性別 (本人の年齢別)】



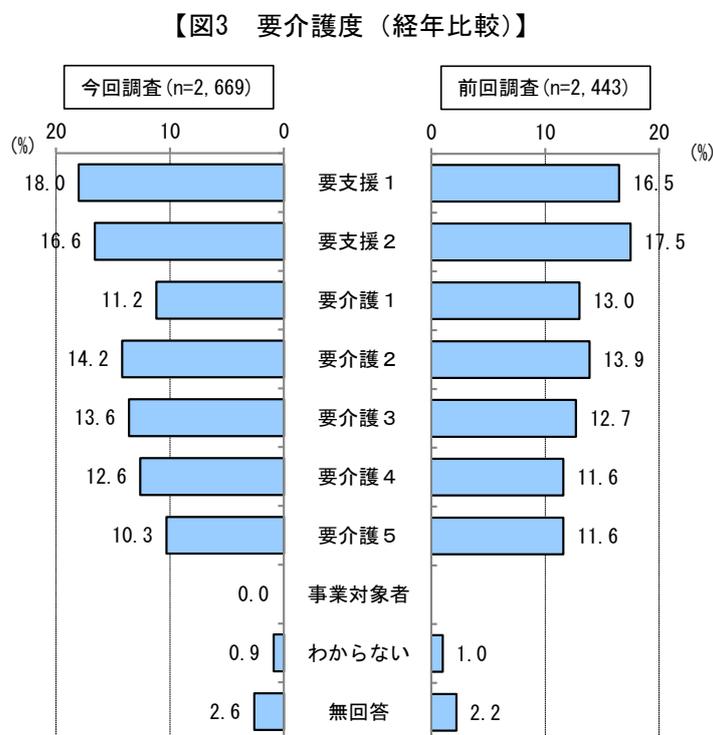
問2 (3) 本人の居住区



本人の居住区では、「平野区」が204件で最も多く、次いで「東淀川区」が178件、「東住吉区」が167件となっている。(図2(3))

問3 要介護度

あなたの要介護度についておうかがいします。(○はひとつ)



※「事業対象者」は、今回調査の新規項目である。

要介護度では、「要支援1」が18.0%で最も多く、次いで「要支援2」が16.6%、「要介護2」が14.2%となっている。

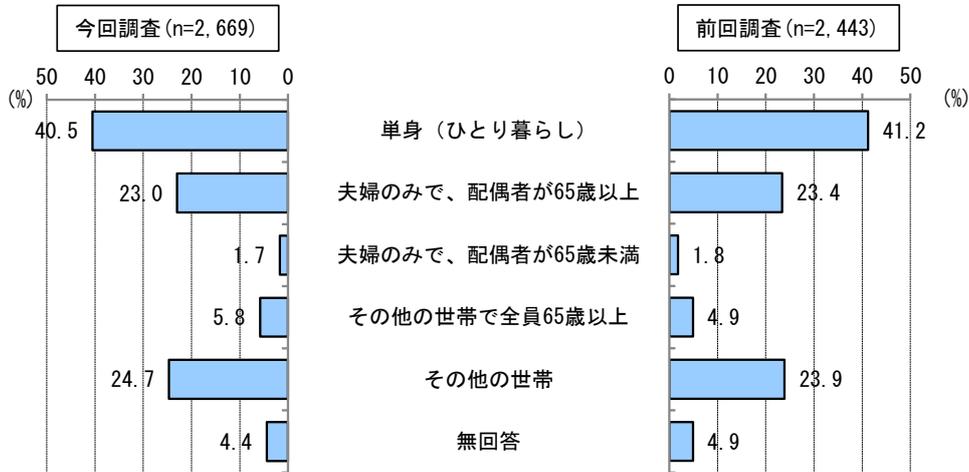
前回調査と比較すると、「要介護1」の割合が1.8ポイント低くなっている。(図3)

(2) 世帯の状況

問4 世帯状況

あなたと同居されている家族の状況についておうかがいします。(〇はひとつ)

【図4 世帯状況（経年比較）】

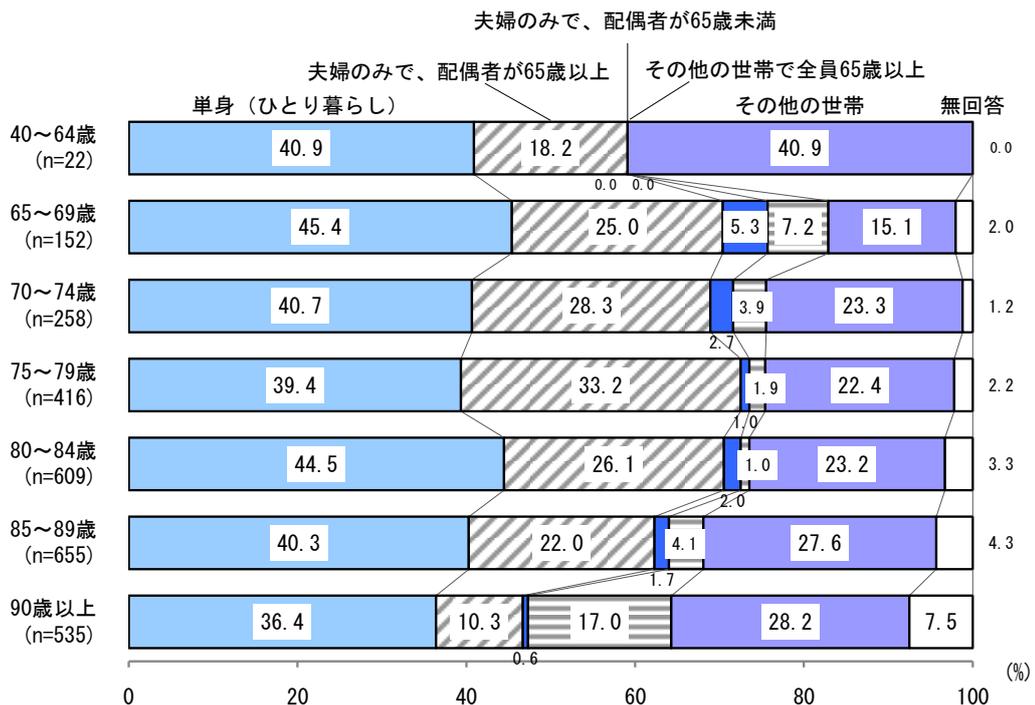


世帯状況については、「単身（ひとり暮らし）」が40.5%で最も多く、次いで「その他の世帯」が24.7%、「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」が23.0%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。（図4）

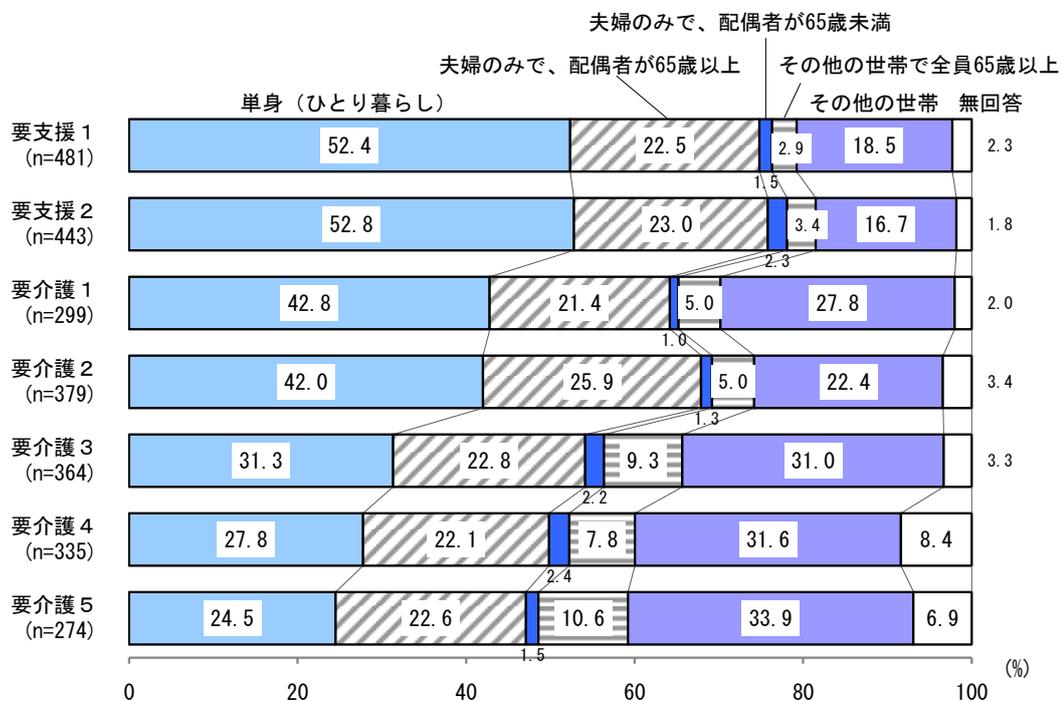
本人の年齢別で見ると、年代にかかわらず「単身（ひとり暮らし）」が最も多く、40～64歳では同率で「その他の世帯」も最も多くなっている。これに次いで、65～84歳の各年代は「夫婦のみで、配偶者が65歳以上」、85～89歳と90歳以上は「その他の世帯」が多くなっている。（図4-a）

【図4-a 世帯状況（本人の年齢別）】



要介護度別で見ると、要支援1・2は「単身（ひとり暮らし）」が5割台を占めている。要介護1～3も「単身（ひとり暮らし）」が最も多いが、同居者のいる世帯のほうが多い。要介護4・5では「その他の世帯」が最も多く、同居者のいる世帯は過半数を占めており、「単身（ひとり暮らし）」は2割台となっている。（図4-b）

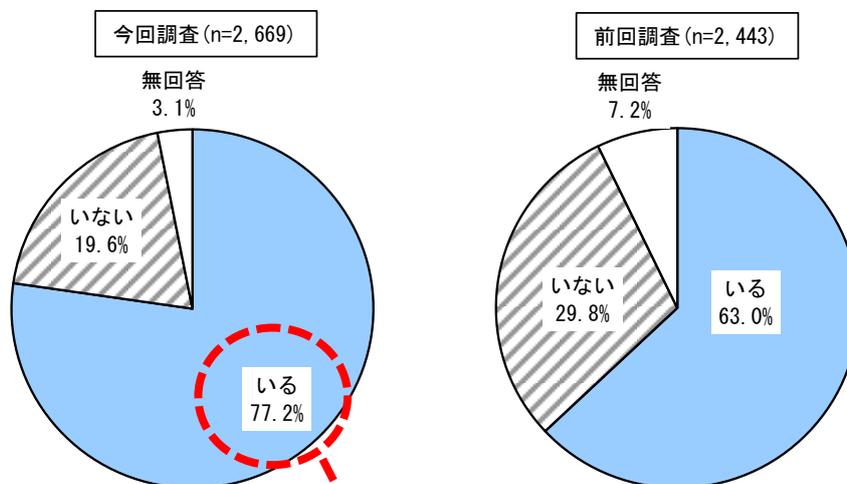
【図4-b 世帯状況（要介護度別）】



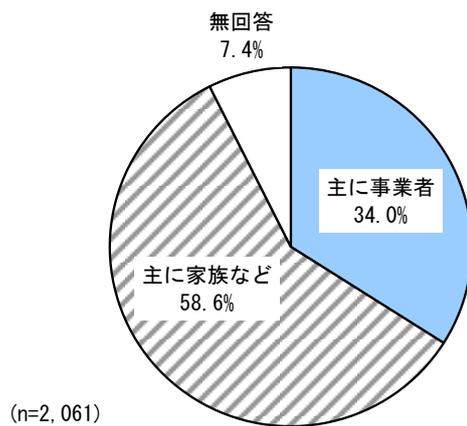
問5 介護者の有無

あなたの介護をする方はいますか。(〇はひとつ)

【図5 介護者の有無（経年比較）】



【付図5 主な介護者】



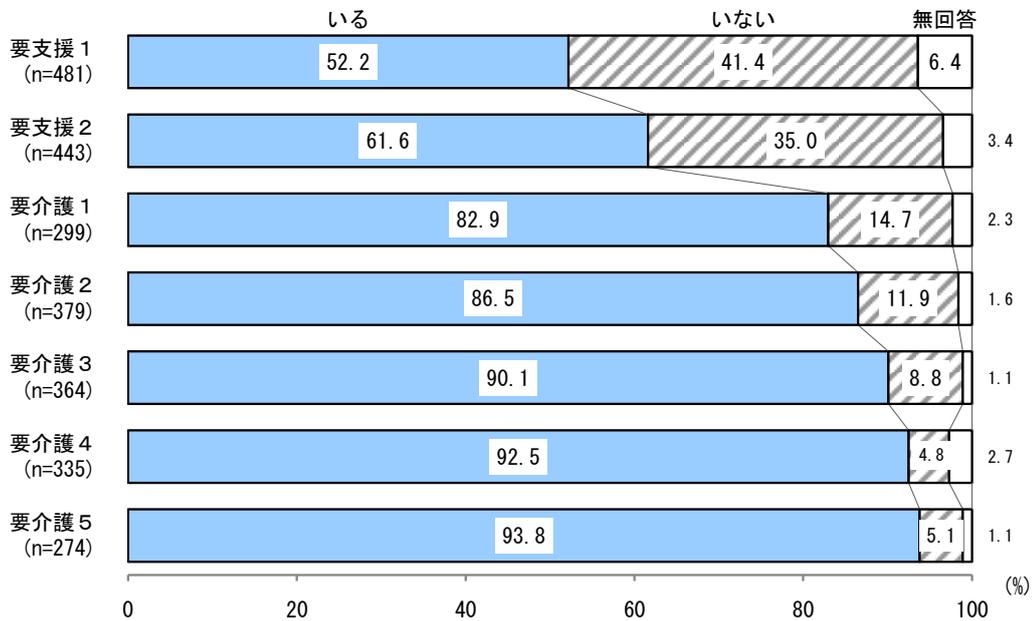
介護者が「いる」は77.2%、「いない」は19.6%となっている。

前回調査と比較すると、「いる」の割合が14.2ポイント高くなっている。(図5)

介護者がいると回答した人に、主な介護者をたずねると、「主に事業者」が34.0%、「主に家族など」が58.6%となっている。(付図5)

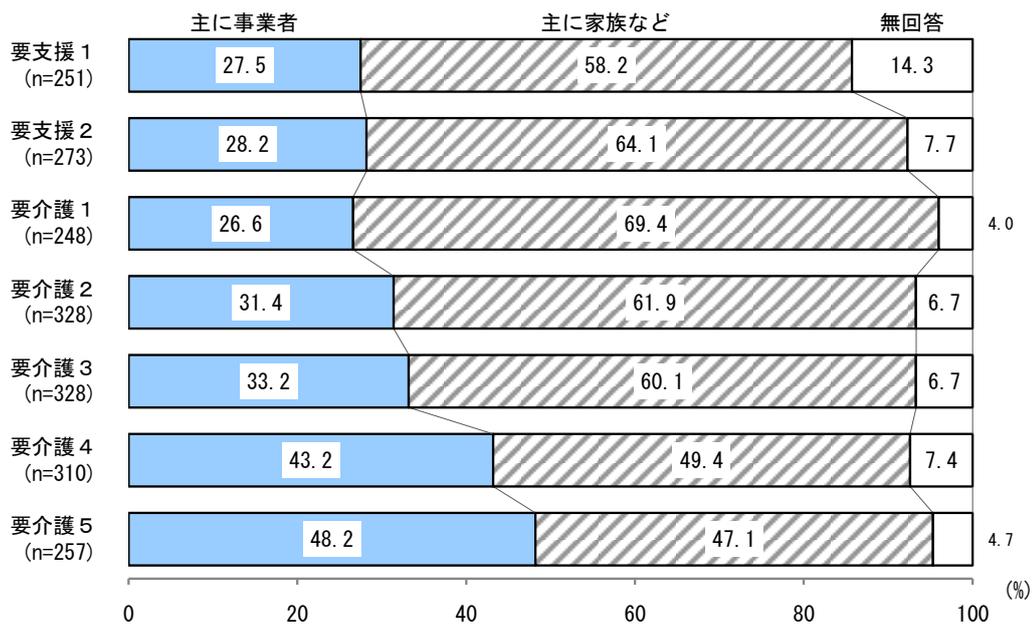
介護者の有無を要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「いる」は過半数を占めており、要介護1～5では8～9割台となっている。(図5-a)

【図5-a 介護者の有無（要介護度別）】



主な介護者を本人の要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1～3は「主に家族など」が過半数を占めている。要介護4は「主に事業者」が43.2%、「主に家族など」が49.4%で、「主に家族など」のほうが6.2ポイント高くなっている。要介護5では「主に事業者」が48.2%、「主に家族など」が47.1%で、「主に事業者」のほうが1.1ポイント高くなっている。(付図5-a)

【付図5-a 介護者の有無（要介護度別）】

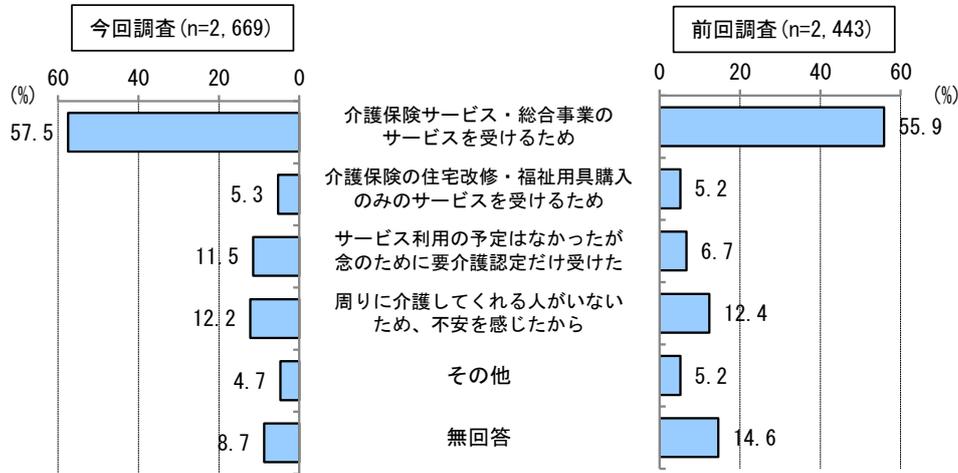


(3) 要介護認定

問6 初めて要介護認定を受けた時の目的

あなたが、初めて要介護認定を受けた時の目的は何ですか。(〇はひとつ)

【図6 初めて要介護認定を受けた時の目的（経年比較）】

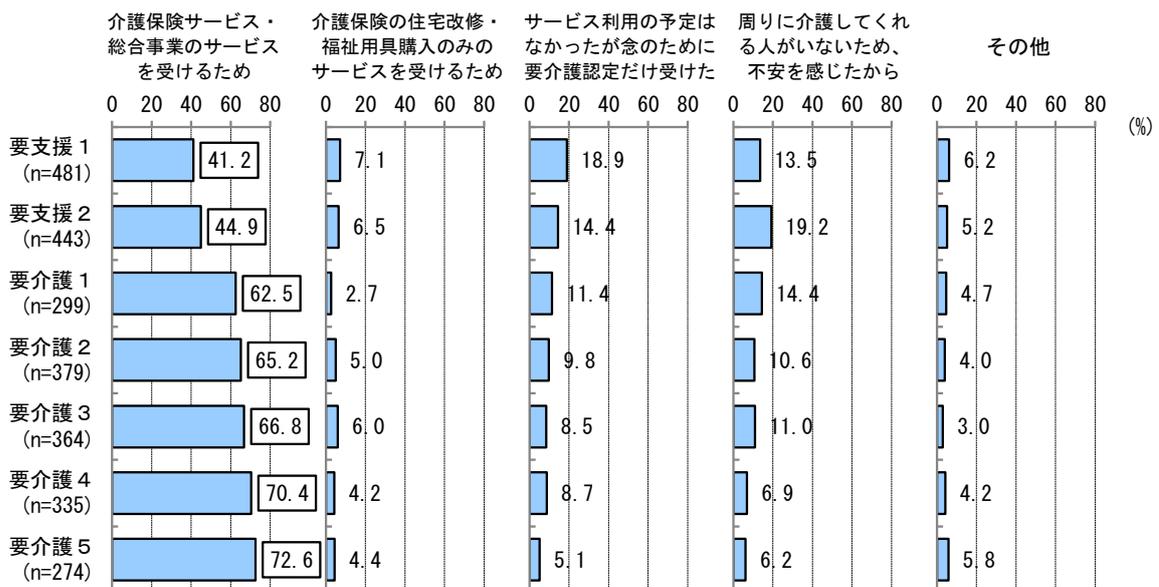


初めて要介護認定を受けた時の目的については、「介護保険サービス・総合事業のサービスを受けるため」が57.5%で最も多く、次いで、「周りに介護してくれる人がいないため、不安を感じたから」が12.2%となっている。

前回調査と比較すると、「サービス利用の予定はなかったが念のために要介護認定だけ受けた」の割合が4.8ポイント高くなっている。(図6)

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「介護保険サービス・総合事業サービスを受けるため」が最も多くなっており、要介護1～5では過半数を占め、重度になるほど割合が高くなっている。(図6-a)

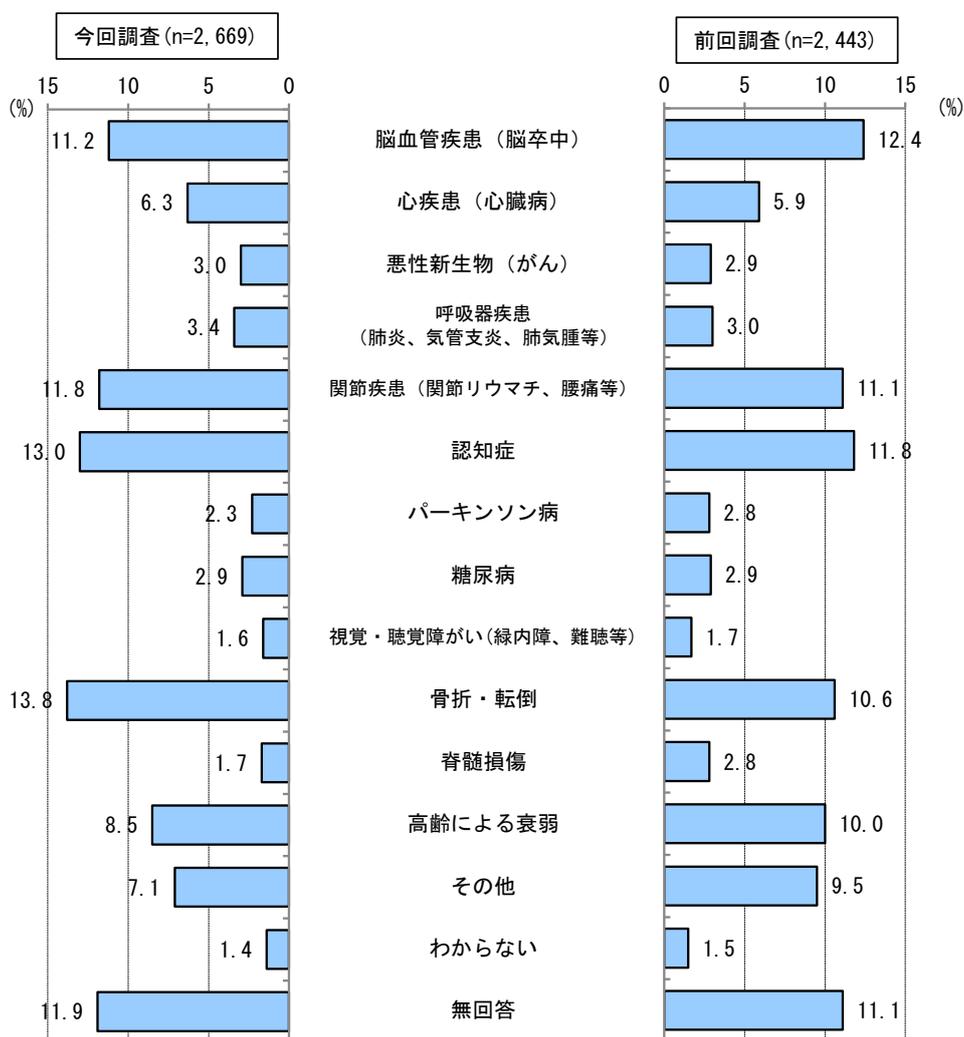
【図6-a 初めて要介護認定を受けた時の目的（要介護度別）】



問6-1 介護認定を受けた主な原因や病気

問6の目的以外に介護認定を受けた主な原因や病気は何ですか。(〇はひとつ)

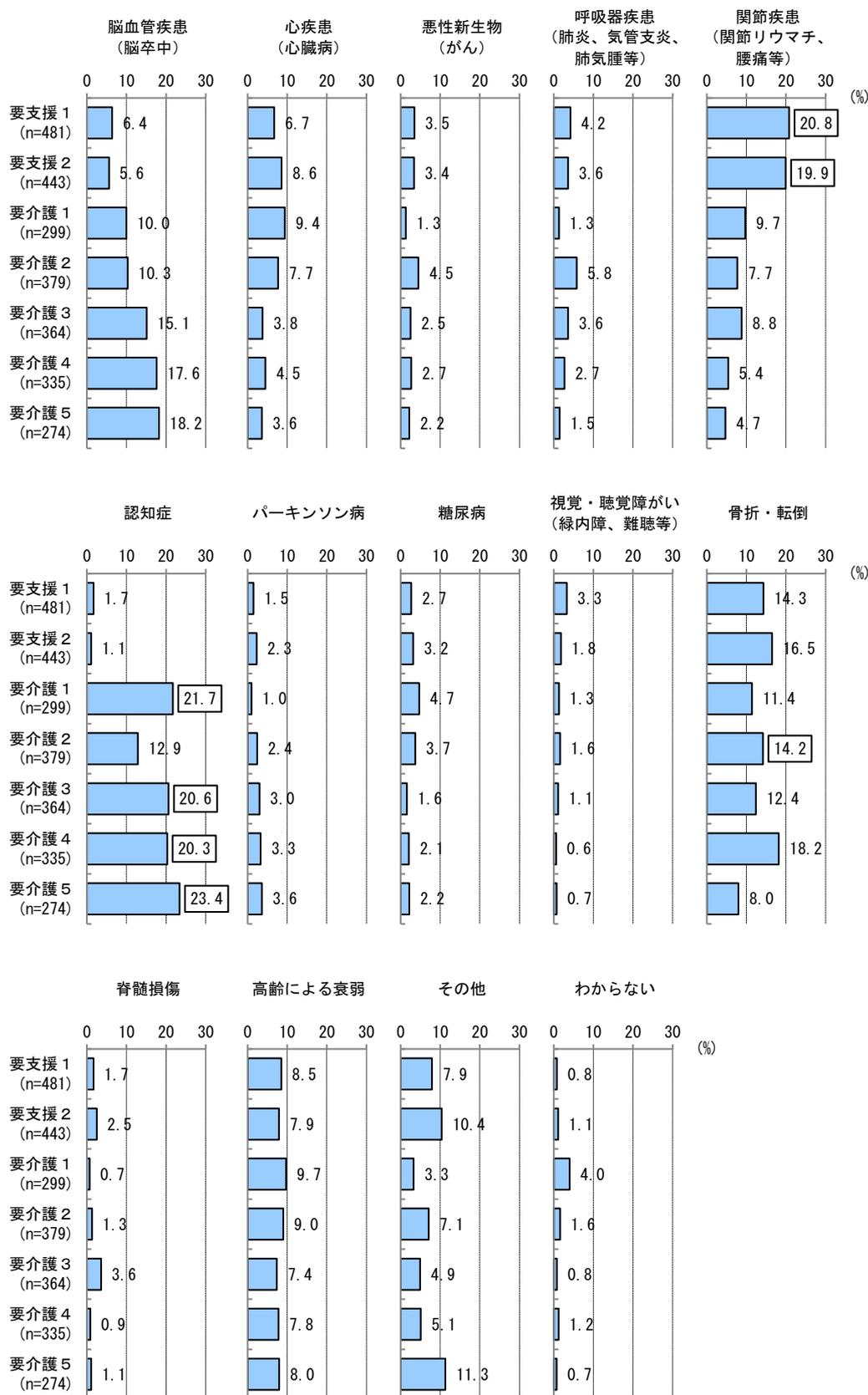
【図6-1 介護認定を受けた主な原因や病気（経年比較）】



介護認定を受けた主な原因や病気については、「骨折・転倒」が13.8%で最も多く、次いで「認知症」が13.0%、「関節疾患（関節リウマチ、腰痛等）」が11.8%となっている。前回調査と比較すると、「骨折・転倒」の割合が3.2ポイント高くなっている。（図6-1）

要介護度別でみると、要支援1・2は「関節疾患（関節リウマチ、腰痛等）」、要介護1と要介護3～5は「認知症」、要介護2は「骨折・転倒」が、それぞれ最も多くなっている。（図6-1-a）

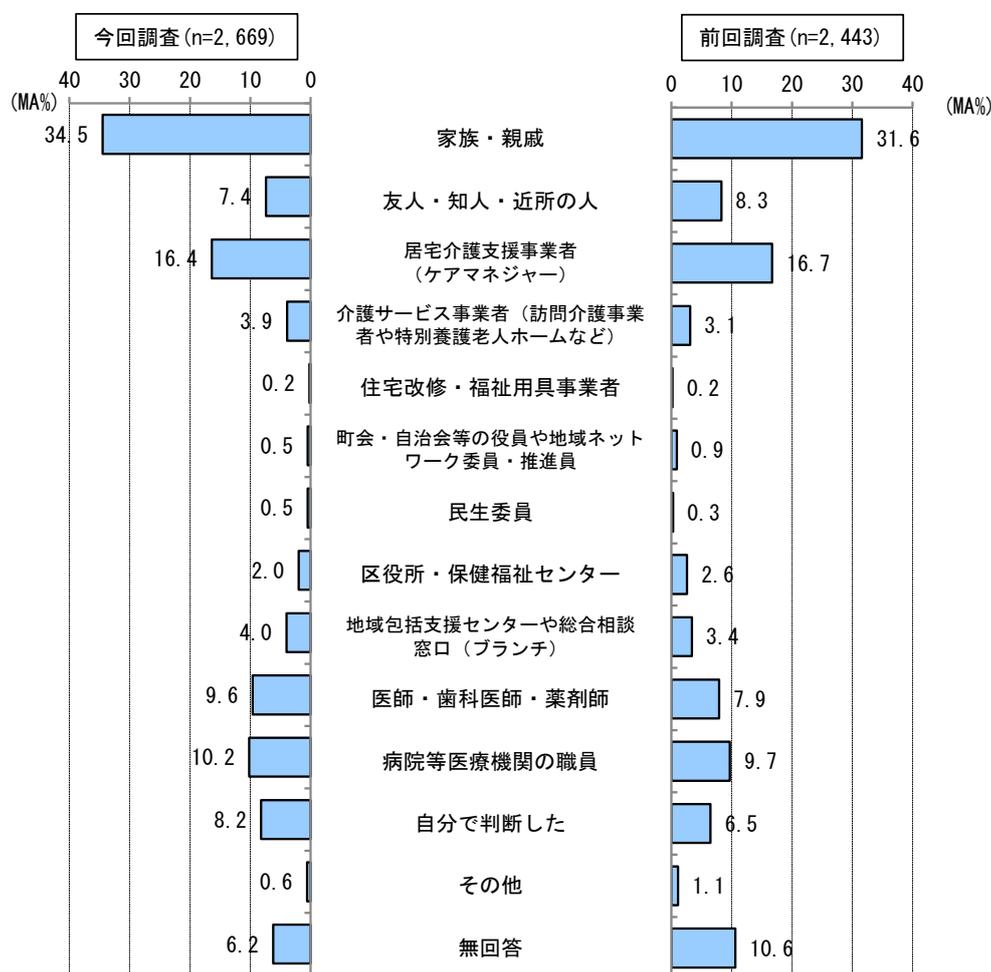
【図6-1-a 介護認定を受けた主な原因や病気（要介護度別）】



問6-2 要介護認定を受けるよう勧めた人

要介護認定を受けるよう勧めたのは誰ですか。(○はひとつ)

【図6-2 要介護認定を受けるよう勧めた人（経年比較）】



※複数回答の回答者が多かったため、すべての回答を有効としている。

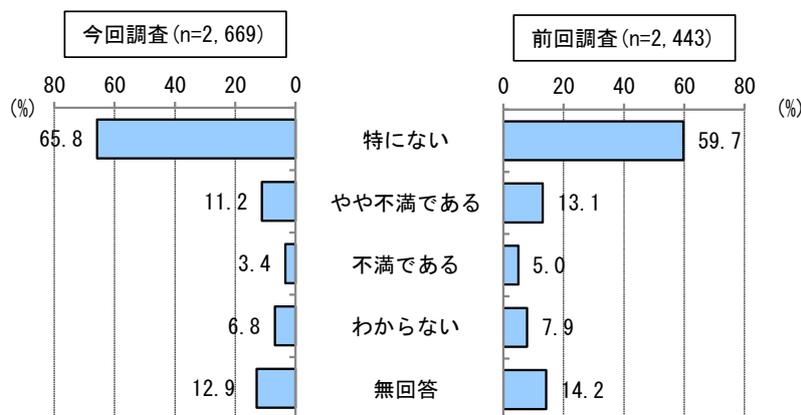
要介護認定を受けるよう勧めた人については、「家族・親戚」が34.5%で最も多く、次いで「居宅介護支援事業者 (ケアマネジャー)」が16.4%、「病院等医療機関の職員」が10.2%となっている。

前回調査と比較すると、概ね前回と同様の傾向となっている。(図6-2)

問7 直近の要介護認定で不満の有無

直近の要介護認定において、何かご不満な点がありましたか。(〇はひとつ)

【図7 直近の要介護認定で不満の有無（経年比較）】



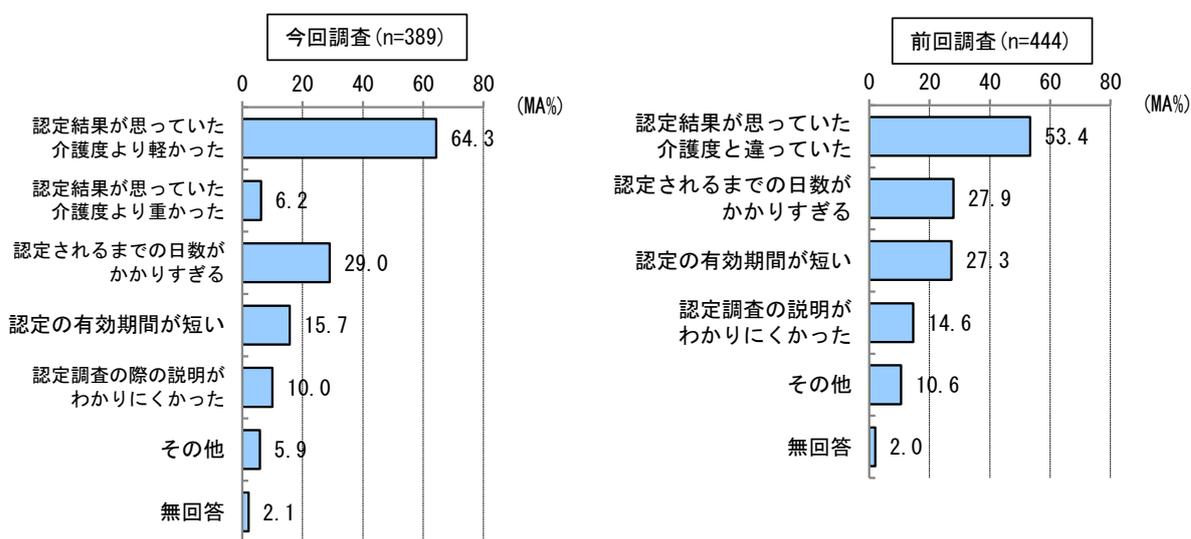
直近の要介護認定で不満があったかについては、「特にない」が65.8%で最も多く、次いで「やや不満である」が11.2%となっている。

前回調査と比較すると、「特にない」の割合が6.1ポイント高くなっている。(図7)

問7-1 要介護度認定に不満がある理由

【問7で「2 やや不満である」「3 不満である」と回答された方におうかがいします。】
その理由についてお答えください。(〇はいくつでも)

【図7-1 要介護認定に不満がある理由（経年比較）】



※「認定結果が思っていた介護度より軽かった」「認定結果が思っていた介護度より重かった」は今回調査の新規項目であり、前回調査の「認定結果が思っていた介護度と違っていった」は今回調査では設けていない。

要介護認定に不満があると回答した人に、その理由をたずねると、「認定結果が思っていた介護度より軽かった」が64.3%で最も多く、次いで「認定されるまでの日数がかかりすぎる」が29.0%となっている。

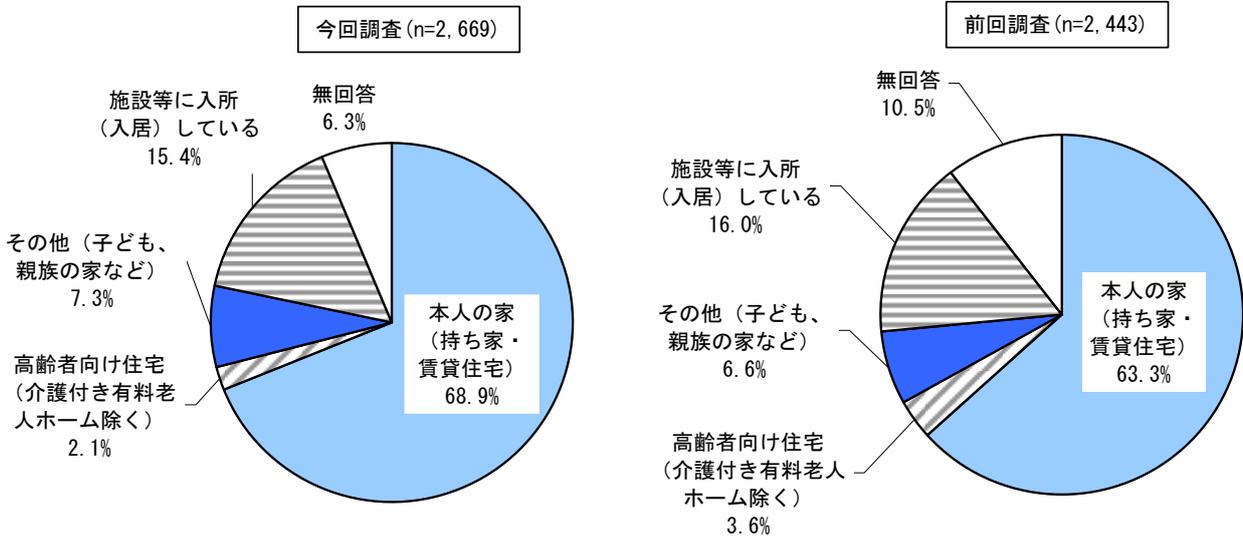
前回調査と設問項目が異なるため一概には比較できないが、介護度への不満が最も多いという傾向は変わらない。(図7-1)

(4) 介護保険サービスの利用状況と利用に対する考え

問8 現在の住まい

あなたの現在のお住まいについて、お答えください。(○はひとつ)

【図8 現在の住まい（経年比較）】

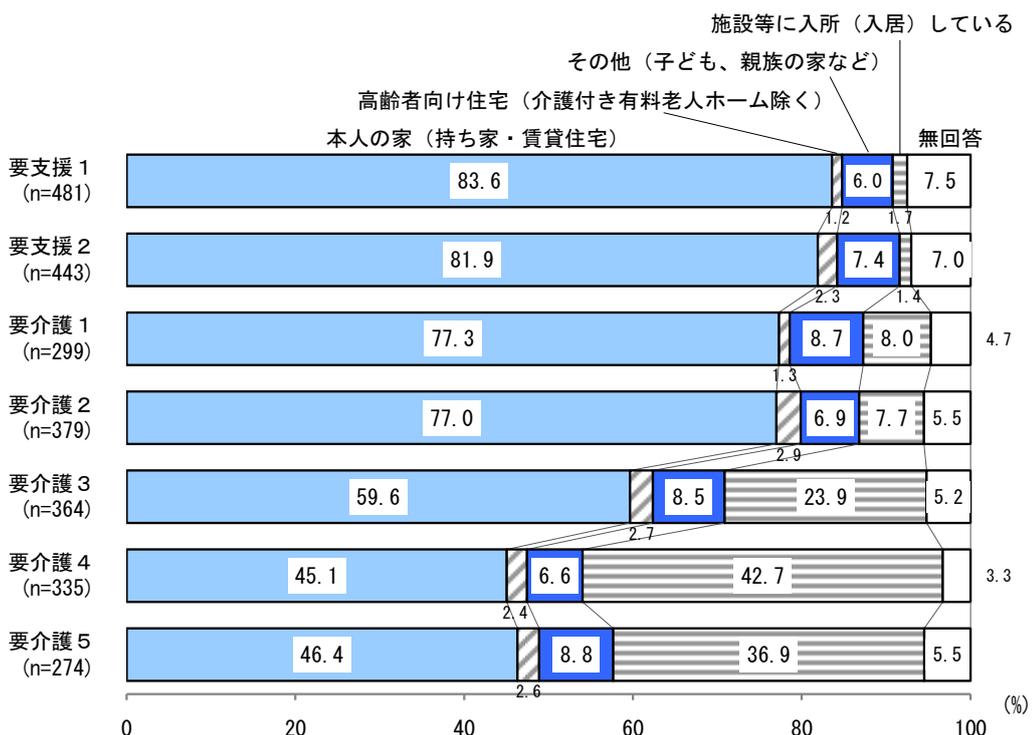


現在の住まいについては、「本人の家（持ち家・賃貸住宅）」が68.9%で最も多く、次いで「施設等に入所（入居）している」が15.4%となっている。

前回調査と比較すると、「本人の家（持ち家・賃貸住宅）」の割合が5.6ポイント高くなっている。(図8)

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「本人の家（持ち家・賃貸住宅）」が最も多く、要支援1・2は8割台、要介護1・2は7割台、要介護3は59.6%で過半数を占めている。要介護4・5では「本人の家（持ち家・賃貸住宅）」が4割台で最も多いが、「施設等に入所（入居）している」は要介護4で42.7%、要介護5で36.9%となっている。(図8-a)

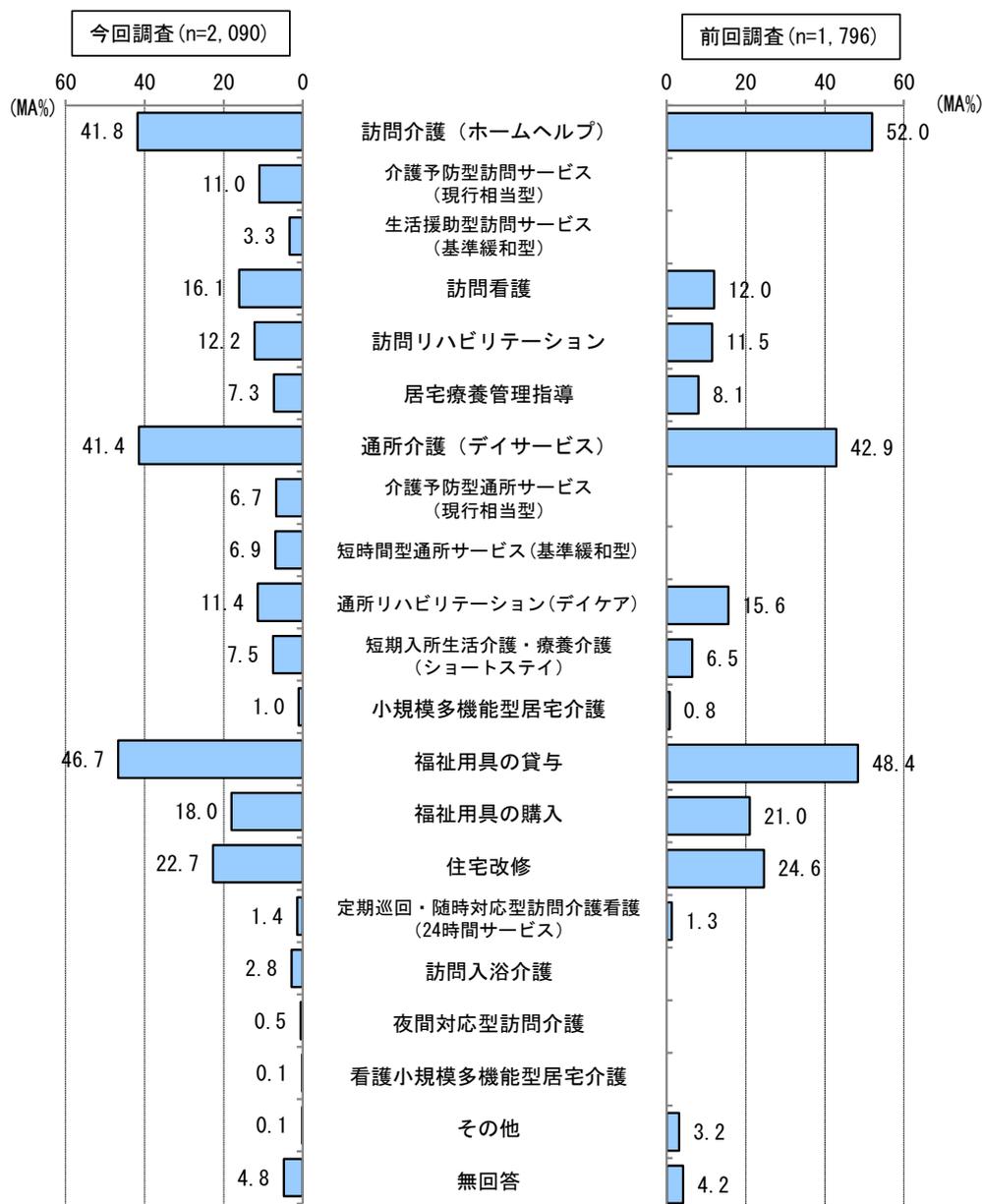
【図8-a 現在の住まい（要介護度別）】



問8-1 現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス

【問8で「1 あなたの家（持ち家・賃貸住宅）」、「2 高齢者向け住宅（介護付き有料老人ホーム除く）」、「3 その他（子ども、親族の家など）」と回答された方のみお答えください。】
 あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

【図8-1 現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（経年比較）】



※「介護予防訪問サービス（現行相当型）」「生活援助型訪問サービス（基準緩和型）」「介護予防型通所サービス（現行相当型）」「短時間型通所サービス（基準緩和型）」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」は、今回調査の新規項目である。

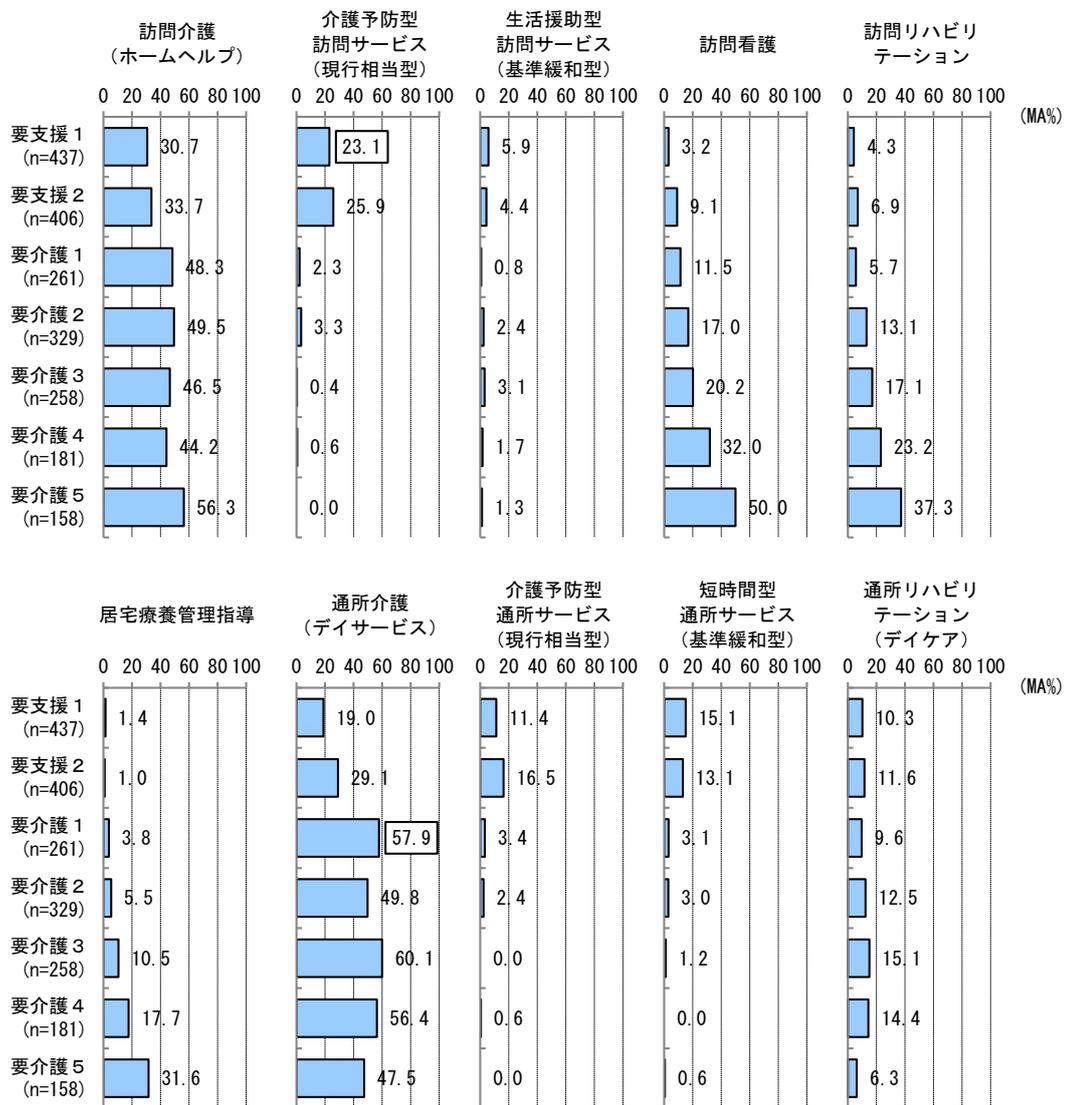
自宅や高齢者向け住宅などに住んでいると回答した人に、現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が46.7%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が41.8%、「通所介護（デイサービス）」が41.4%となっている。

前回調査と設問項目が異なるため一概には比較できないが、上記の3項目が多い傾向は変わらない。（図8-1）

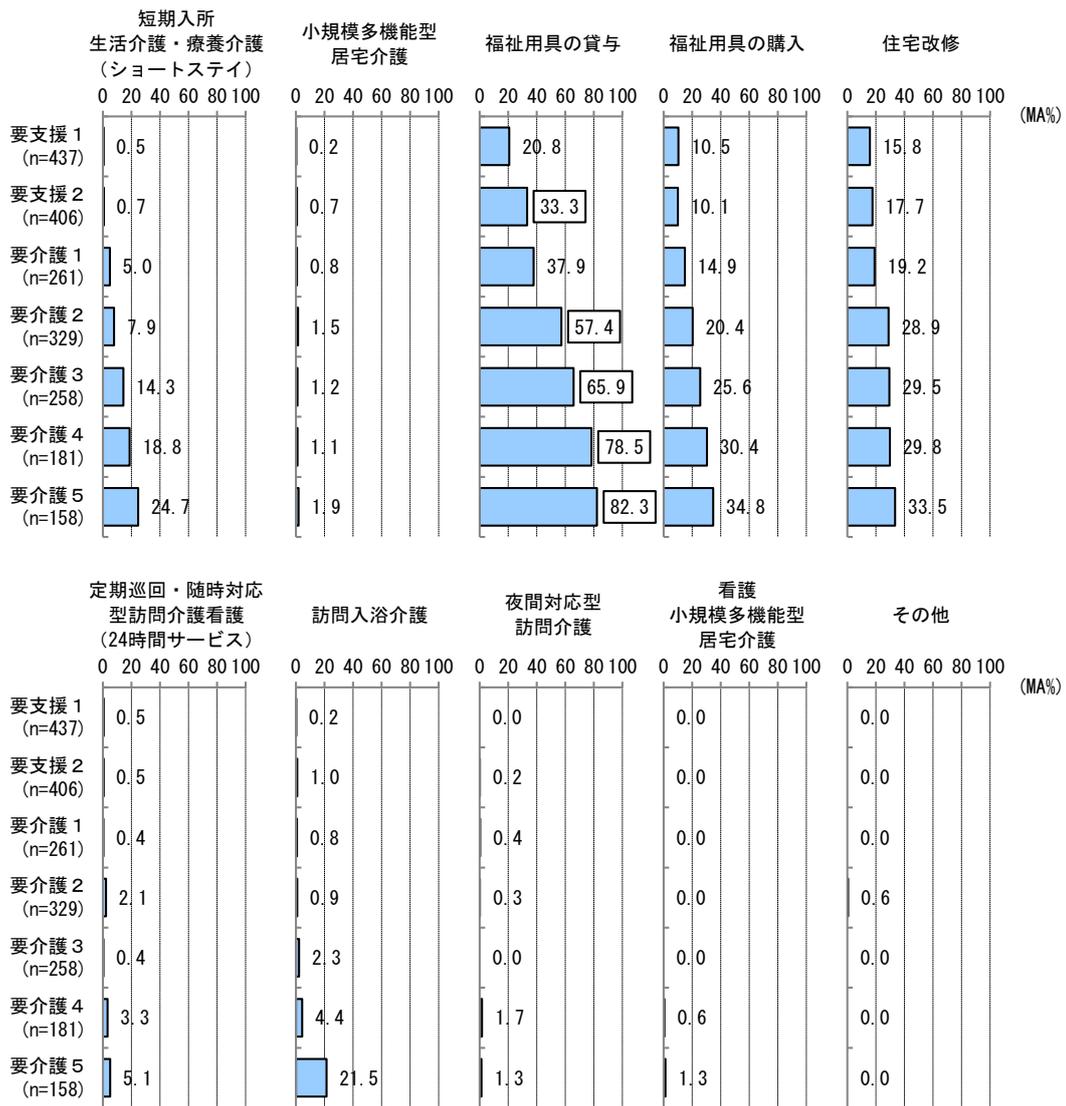
要介護度別でみると、要支援1は「介護予防型訪問サービス（現行相当型）」が23.1%、要支援2は「福祉用具の貸与」が33.3%で、それぞれ最も多くなっている。要介護1は「通所介護（デイサービス）」が57.9%で最も多く、要介護2～5は「福祉用具の貸与」が5割以上で最も多くなっている。また、重度になるほど「訪問看護」「訪問リハビリテーション」「居宅療養管理指導」「短期入所生活介護・療養介護（ショートステイ）」「福祉用具の貸与」「福祉用具の購入」「住宅改修」の割合は高くなっている。（図8-1-a）

【図8-1-a 現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（要介護度別）①】

※要支援1・2の「訪問介護（ホームヘルプ）」「通所介護（デイサービス）」の割合が高いが、回答者の誤認と示唆されるため、分析に注意が必要である。



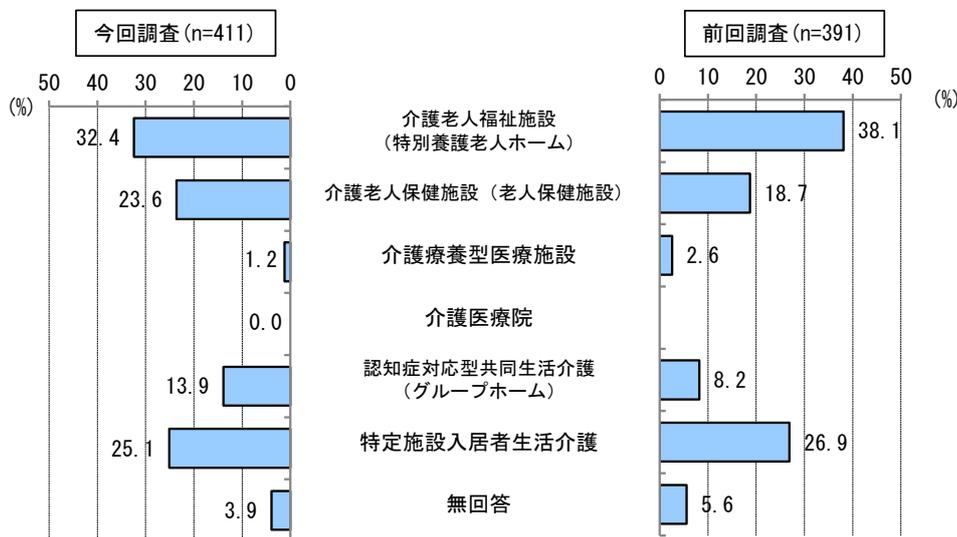
【図8-1-a 現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービス（要介護度別）②】



問8-2 現在入所（入居）している施設

【問8で「4 施設等に入所（入居）している」と回答された方のみお答えください。
 あなたが現在入所（入居）している施設について、あてはまる番号に○をつけてください。
 (○はひとつ)

【図8-2 現在入所（入居）している施設（経年比較）】



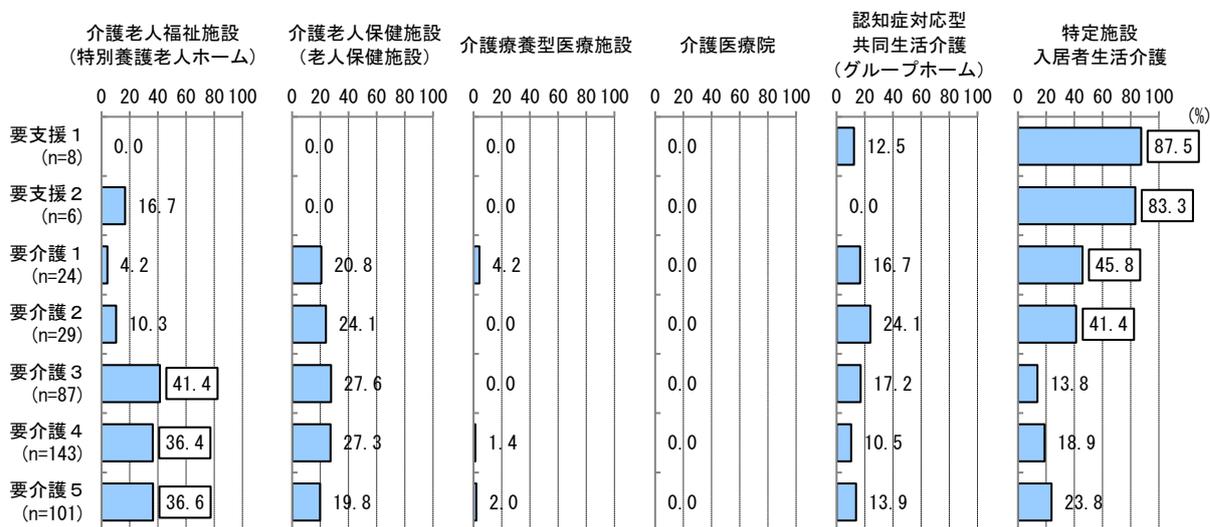
※「介護医療院」は、今回調査の新規項目である。

施設等に入所（入居）していると回答した人に、その施設をたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が32.4%で最も多く、次いで「特定施設入居者生活介護」が25.1%、「介護老人保健施設（老人保健施設）」が23.6%となっている。

前回調査と比較すると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」の割合が5.7ポイント低くなっている。また「介護老人保健施設（老人保健施設）」の割合は4.9ポイント、「認知症対応型共同生活介護（グループホーム）」の割合は5.7ポイント、それぞれ高くなっている。（図8-2）

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1・2の母数は少ないので一概には言えないが、「特定施設入居者生活介護」が最も多く、要介護3～5は「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多くなっている。（図8-2-a）

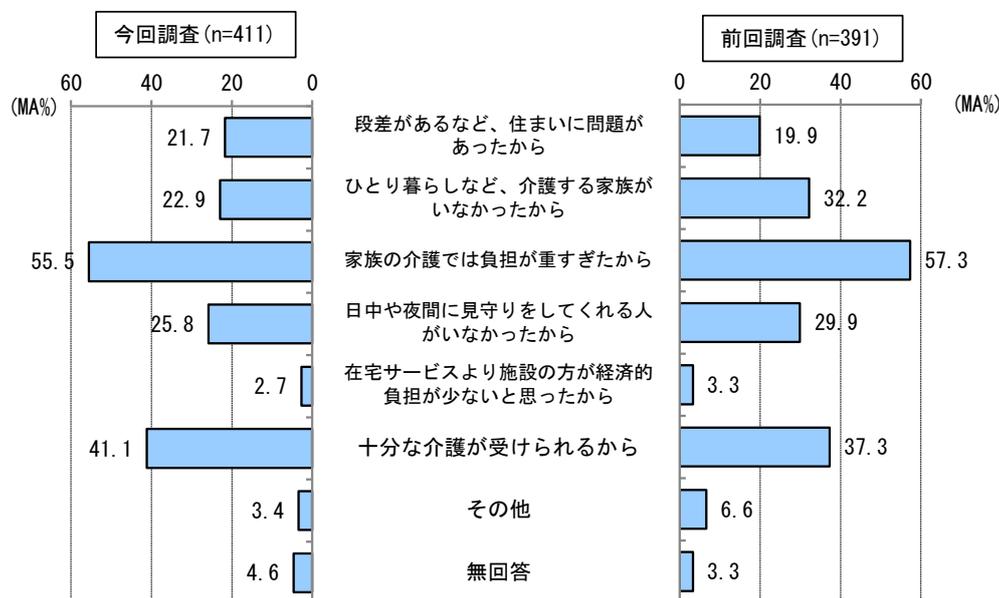
【図8-2-a 現在入所（入居）している施設（要介護度別）】



問8-3 施設等の入所（入居）を希望した理由

【問8で「4 施設等に入所（入居）している」と回答された方のみお答えください。】
 あなたが、施設等の入所（入居）を希望した理由は何ですか。（〇はいくつでも）

【図8-3 施設等の入所（入居）を希望した理由（経年比較）】

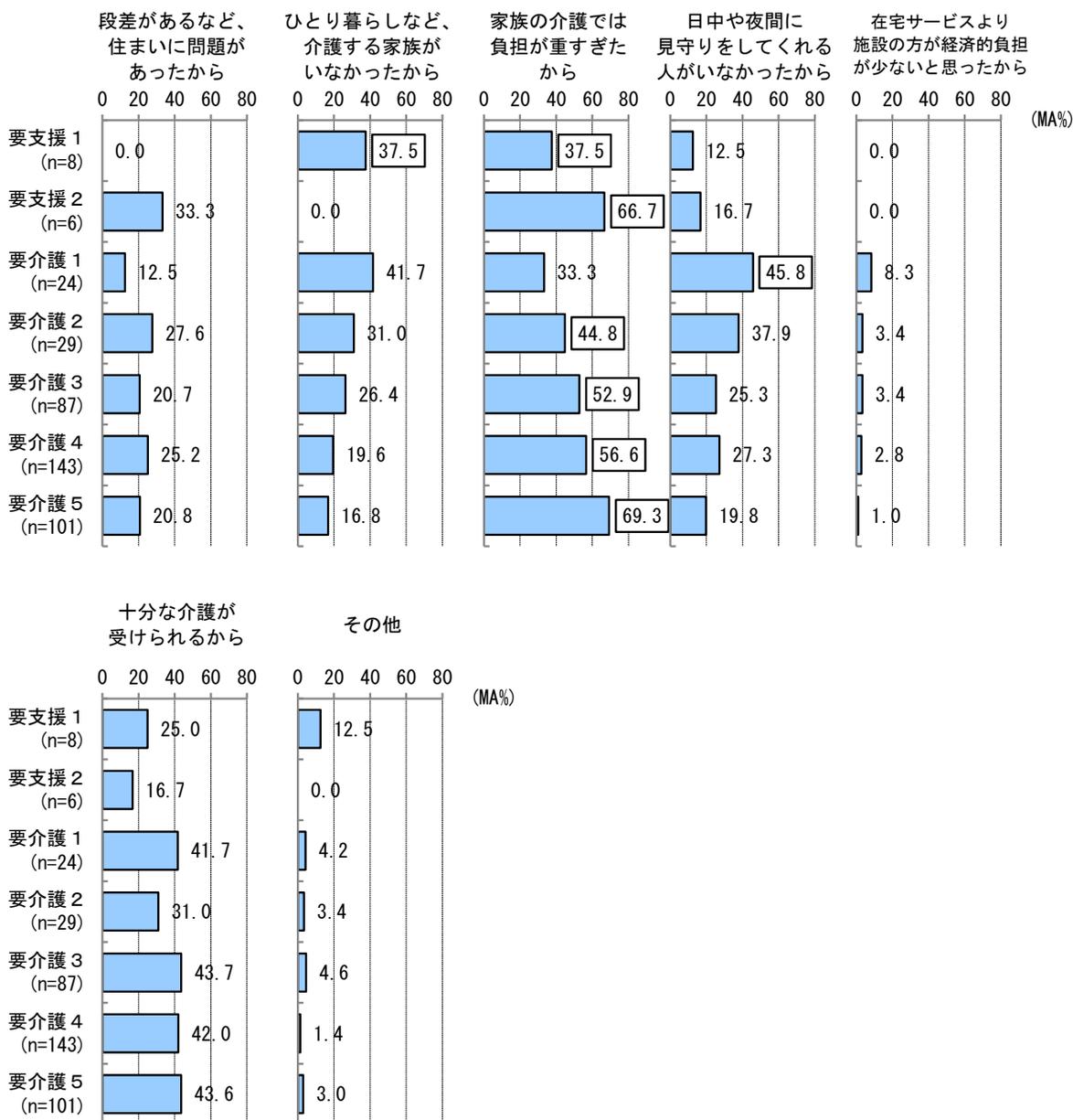


施設等に入所（入居）していると回答した人に、入所（入居）を希望した理由をたずねると、「家族の介護では負担が重すぎたから」が55.5%で最も多く、次いで「十分な介護が受けられるから」が41.1%、「日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから」が25.8%となっている。

前回調査と比較すると、「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」の割合が9.3ポイント、「日中や夜間に介護が受けられるから」の割合が4.1ポイントそれぞれ低くなっている。また「十分な介護が受けられるから」の割合が3.8ポイント高くなっている。（図8-3）

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1・2の母数は少ないので一概には言えないが、要支援1・2と要介護2は「家族の介護では負担が重すぎたから」が最も多く、要支援1では同率で「ひとり暮らしなど、介護する家族がいなかったから」も最も多くなっている。要介護1では「日中や夜間に見守りをしてくれる人がいなかったから」が最も多い。要介護3～5も「家族の介護では負担が重すぎたから」が最も多く、いずれも5～6割台となっている。(図8-3-a)

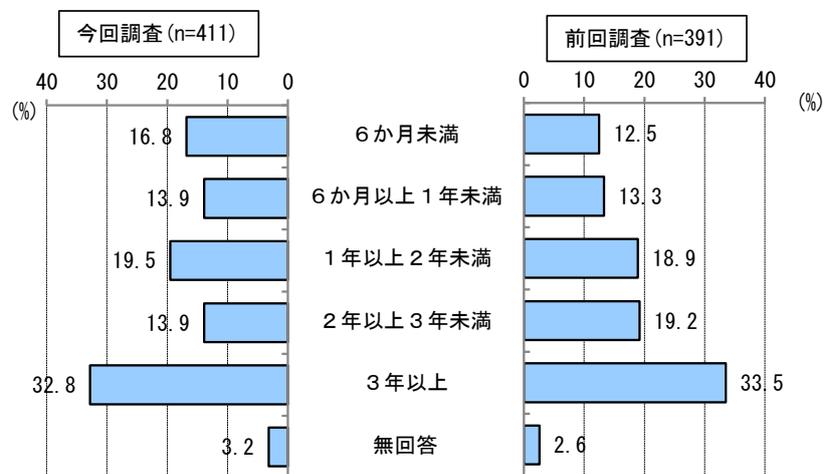
【図8-3-a 施設等の入所（入居）を希望した理由（要介護度別）】



問8-4 現在の施設等に入所（入居）してからの期間

【問8で「4 施設等に入所（入居）している」と回答された方のみお答えください。】
 あなたが、現在の施設等に入所（入居）してから、どのくらいになりますか。（〇はひとつ）

【図8-4 現在の施設等に入所（入居）してからの期間（経年比較）】

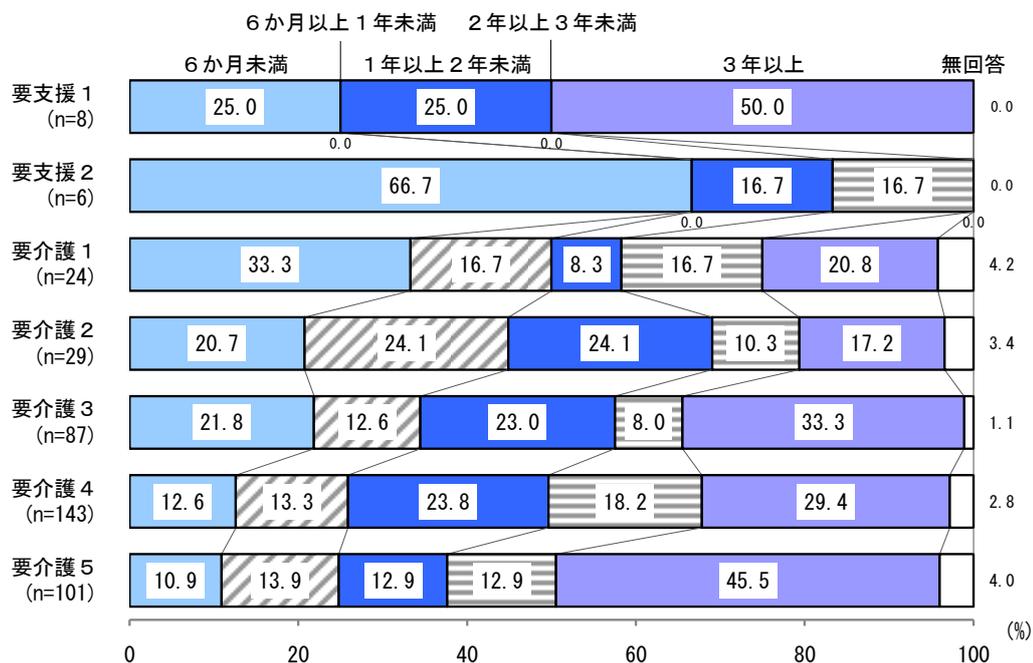


施設等に入所（入居）していると回答した人に、入所（入居）期間をたずねると、「3年以上」が32.8%で最も多く、次いで「1年以上2年未満」が19.5%、「6か月未満」が16.8%となっている。

前回調査と比較すると、「6か月未満」の割合が4.3ポイント高くなっている。また「2年以上3年未満」の割合が5.3ポイント低くなっている。（図8-4）

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1・2は母数が少ないので一概には言えないが、要介護1は「6か月未満」、要介護2は「6か月以上1年未満」「1年以上2年未満」が最も多い。要介護3～5では「3年以上」が最も多く、なかでも要介護5は45.5%で他の要介護度に比べ高い割合になっている。（図8-4-a）

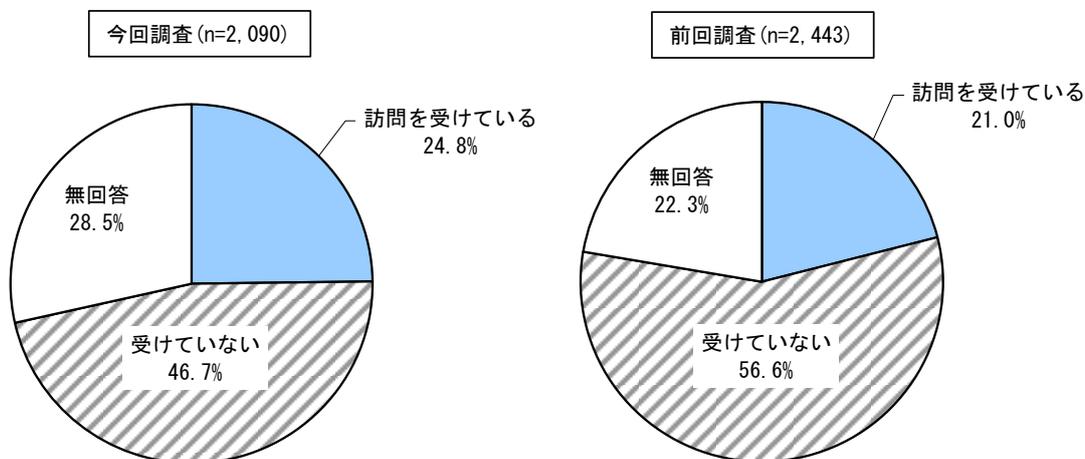
【図8-4-a 現在の施設等に入所（入居）してからの期間（要介護度別）】



問9 医療従事者などの訪問有無

【自宅で介護保険サービスを利用されている方のみお答えください。】
 あなたは現在、医療従事者などの訪問を受けていますか。（○はひとつ）

【図9 医療従事者などの訪問有無（経年比較）】

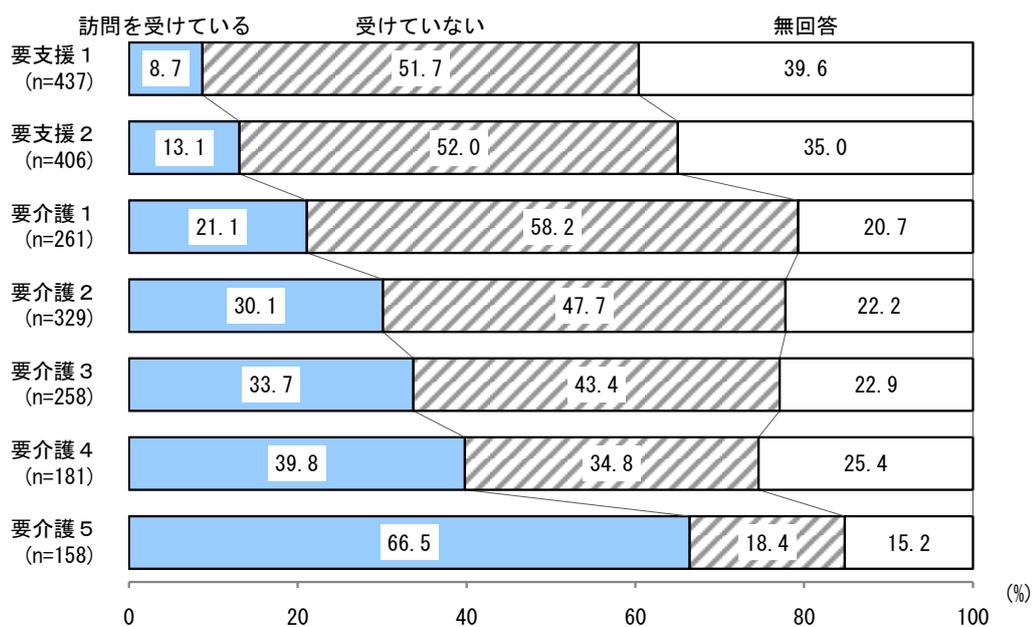


現在、医療従事者などの訪問を受けているかについては、「訪問を受けている」が24.8%、「受けていない」が46.7%となっている。

前回調査と比較すると、「訪問を受けている」の割合が3.8ポイント高くなっている。(図9)

要介護度別でみると、要支援1・2と要介護1～3は「受けていない」のほうが多くなっているが、重度になるほど「訪問を受けている」の割合が高くなっており、要介護5では66.5%となっている。(図9-a)

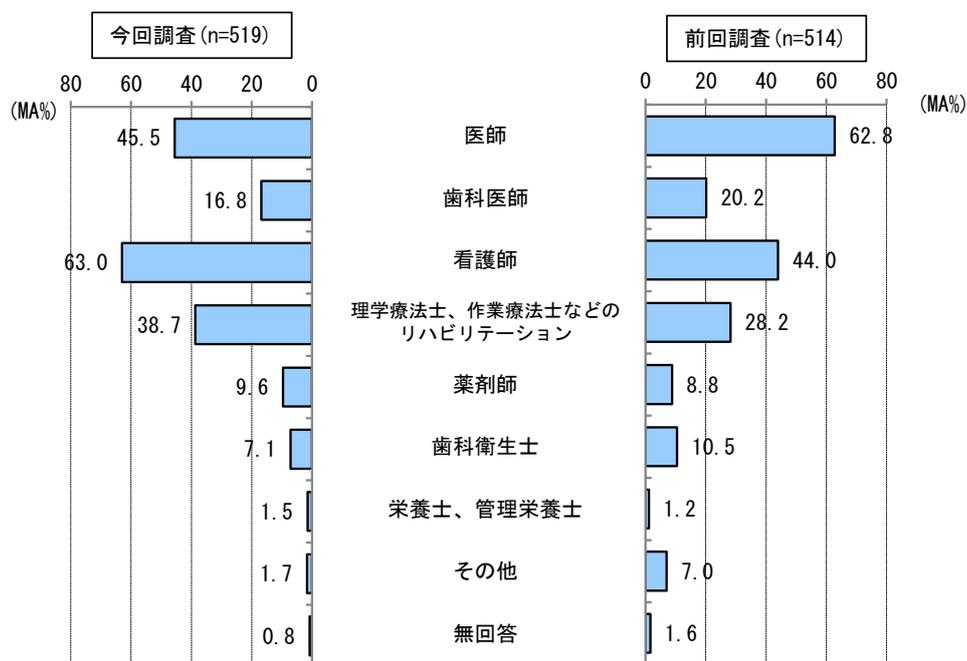
【図9-a 医療従事者などの訪問有無（要介護度別）】



問9-1 訪問される医療従事者

【問9で「1 はい」と回答された方におうかがいします。】
訪問されている方は誰ですか。(〇はいくつでも)

【図9-1 訪問される医療従事者（経年比較）】

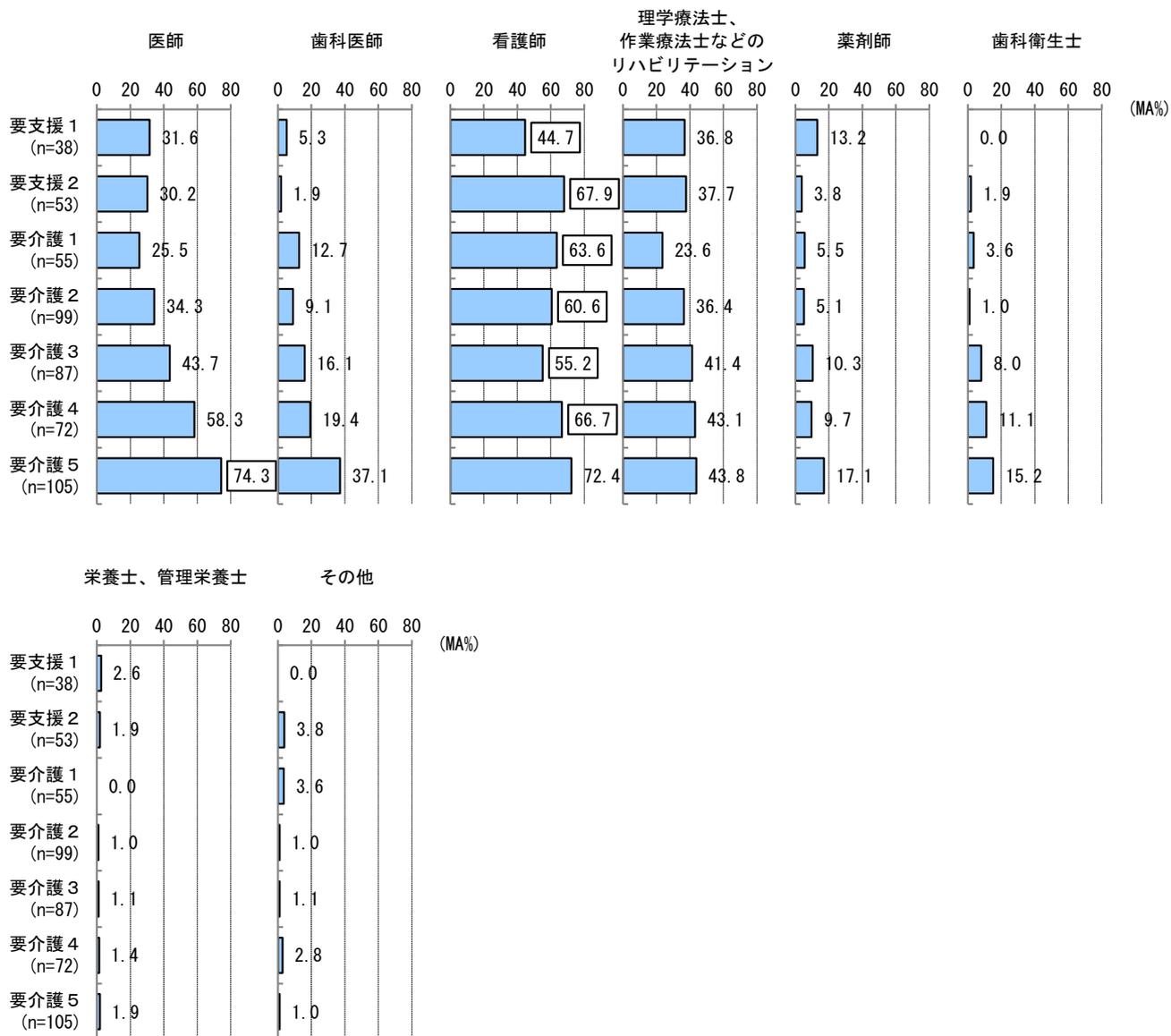


医療従事者などの訪問を受けていると回答した人に、その相手をたずねると、「看護師」が63.0%で最も多く、次いで「医師」が45.5%、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」が38.7%となっている。

前回調査と比較すると、「医師」の割合が17.3ポイント低くなっている。また、「看護師」の割合は19.0ポイント、「理学療法士、作業療法士などのリハビリテーション」の割合は10.5ポイント高くなっている。(図9-1)

要介護度別で見ると、要支援1・2と要介護1～4は「看護師」が最も多く、要支援1以外は5～6割台となっている。要介護5は「医師」が74.3%で最も多く、重度になるほど「医師」の割合は高くなる傾向にある。(図9-1-a)

【図9-1-a 訪問される医療従事者（要介護度別）】

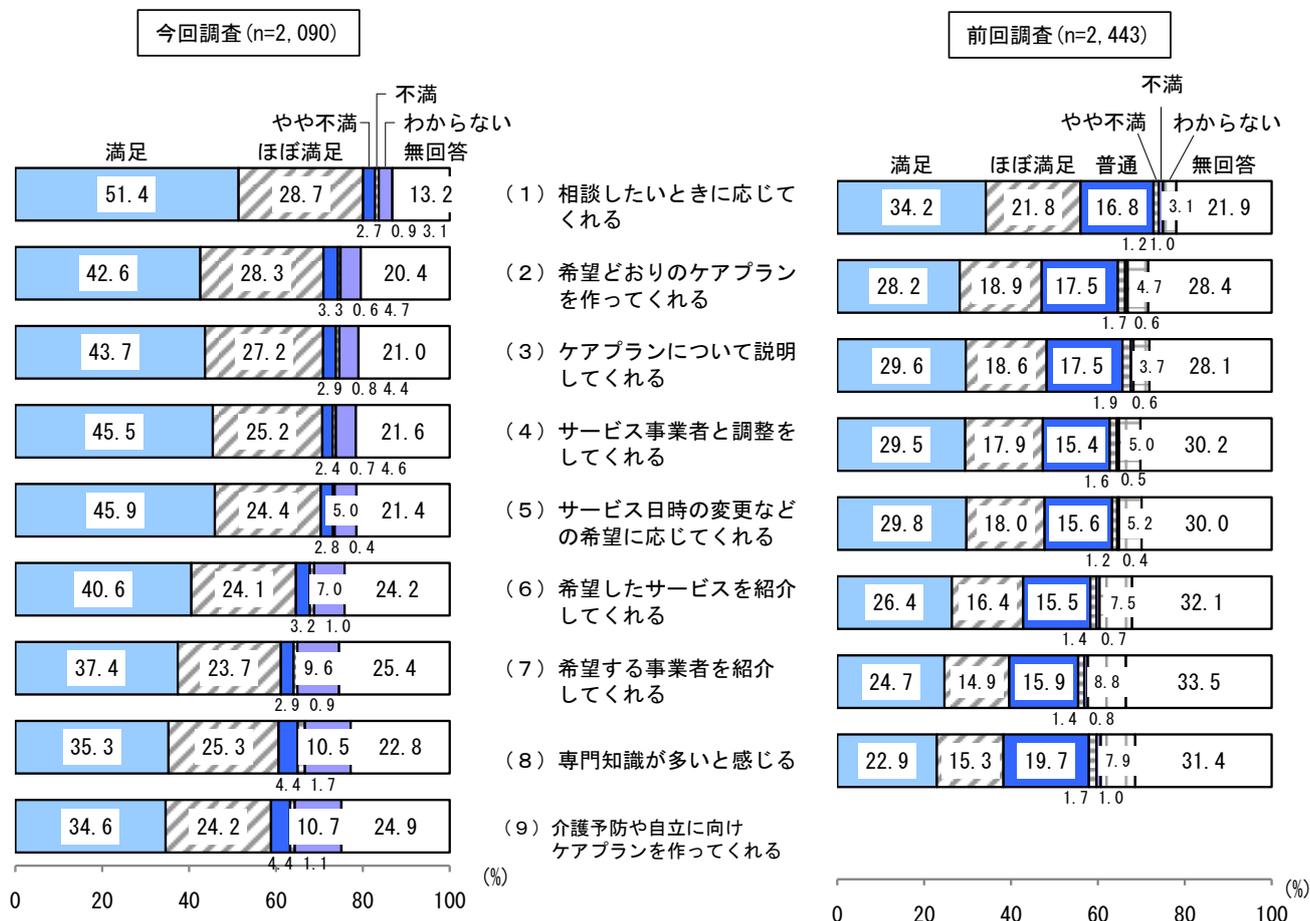


問10 介護支援専門員の満足度

【自宅で介護保険サービスを利用されている方のみお答えください。】

現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）について、次の(1)～(9)の項目ごとの満足度をお答えください。（それぞれ○はひとつ）

【図10 介護支援専門員の満足度（経年比較）】



※「(9) 介護予防や自立に向けケアプランを作ってくれる」は、今回調査の新規項目である。
今回調査では、選択肢に「普通」は設けていない。

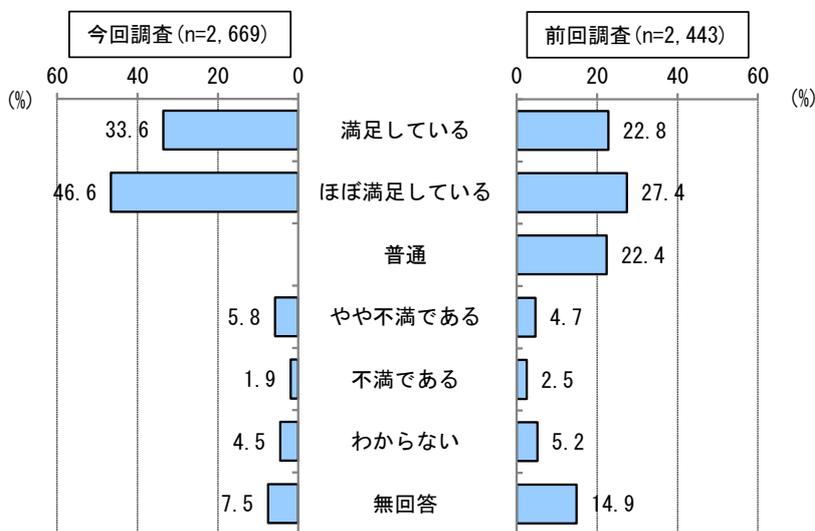
現在、担当の介護支援専門員（ケアマネジャー）の満足度については、いずれの項目も「満足」が最も多く、なかでも“(1) 相談したいときに応じてくれる”が51.4%と高くなっている。また「満足」と「ほぼ満足」をあわせた『満足』割合では、“(1) 相談したいときに応じてくれる”が80.1%、“(2) 希望どおりのケアプランを作ってくれる”“(3) ケアプランについて説明してくれる”が70.9%となっている。

前回調査と比べると、いずれの項目も「満足」「ほぼ満足」の割合が高くなっており、『満足』割合が増加している。(図10)

問11 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度についてお答えください。(〇はひとつ)

【図11 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（経年比較）】



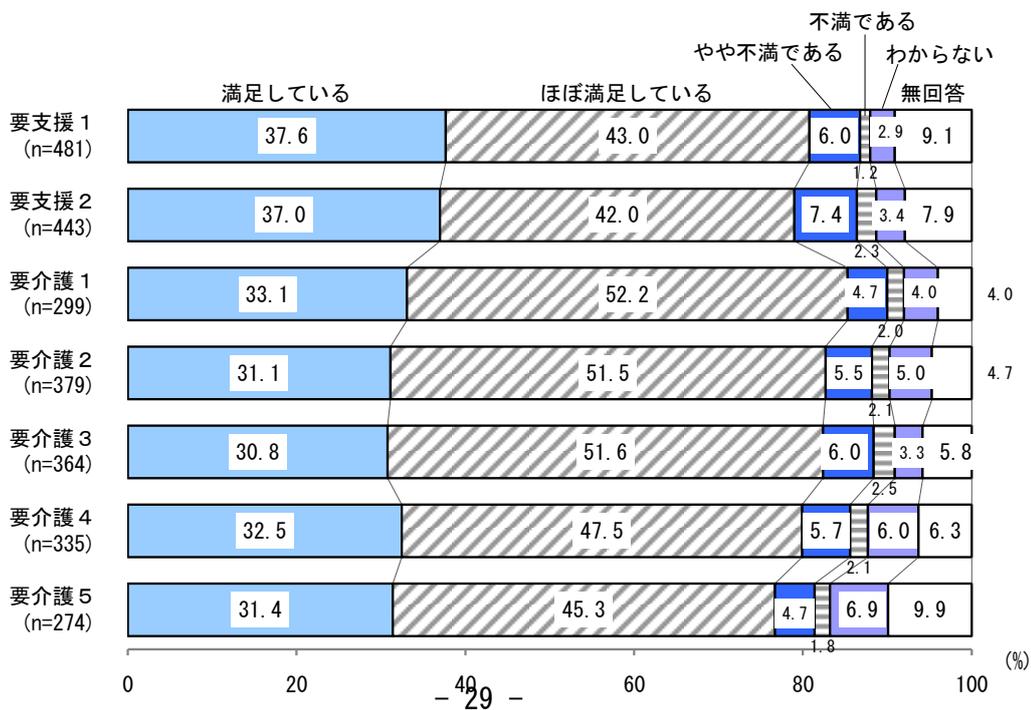
※今回調査では、選択肢に「普通」は設けていない。前回調査では“介護予防サービス”は含まれていない。

介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度については、「ほぼ満足している」が46.6%で最も多く、次いで「満足している」が33.6%となっており、両者を合わせた『満足』の割合は80.2%を占めている。

前回調査では“介護保険サービス”のみを対象としている事や、選択肢が異なるので一概に比較はできないが、参考としてみると、「満足している」「ほぼ満足している」が多い傾向は変わらない。(図11)

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず「ほぼ満足している」が最も多く、『満足』の割合は7～8割台を占めている。(図11-a)

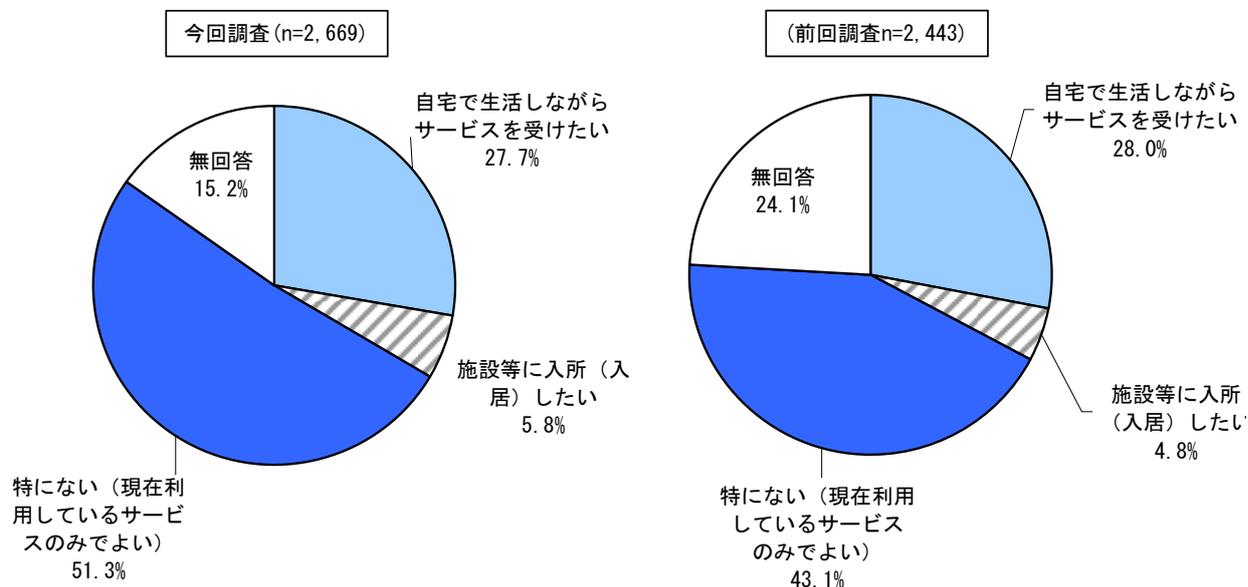
【図11-a 介護保険サービス及び介護予防サービスの満足度（要介護度別）】



問12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向

あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービス及び介護予防サービスはありますか。(〇はひとつ)

【図12 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向 (経年比較)】



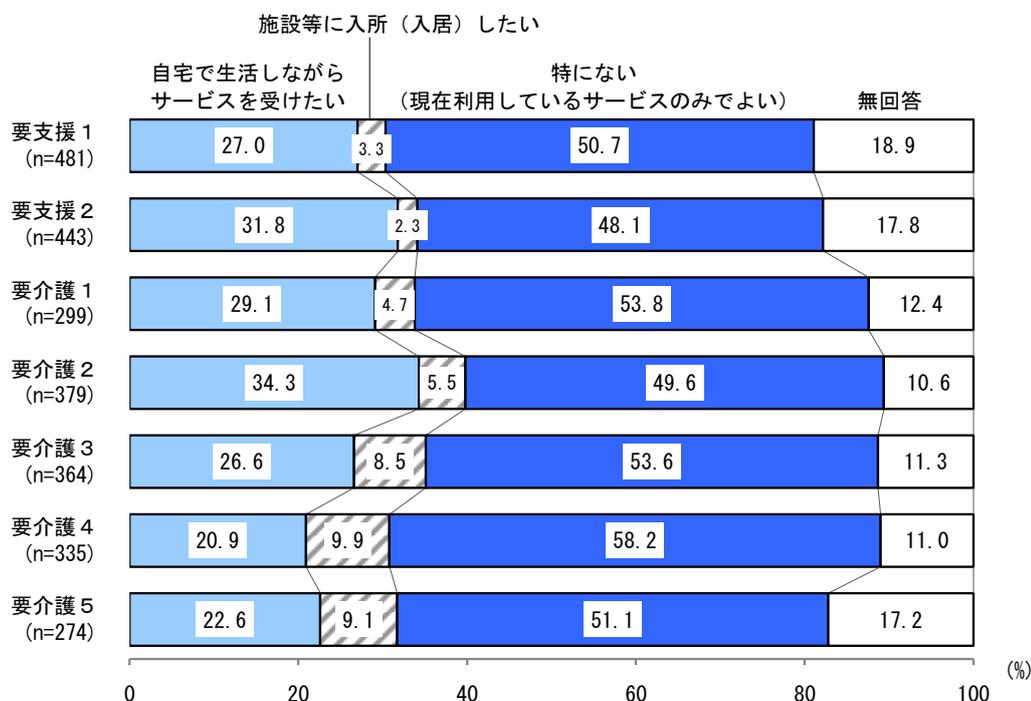
※前回調査には“介護予防サービス”は含まれていない。

現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向については、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」が27.7%、「施設等に入所 (入居) したい」は5.8%となっている。「特になし (現在利用しているサービスのみでよい)」は51.3%となっている。

前回調査に“介護予防サービス”が含まれていないので一概に比較はできないが、参考としてみると、傾向は大きくは変わらない。(図12)

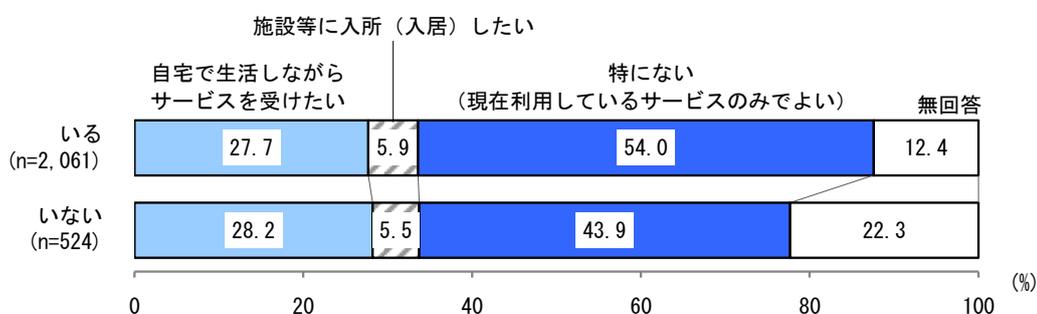
要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多くなっている。一方、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」の割合は、要介護2が34.3%で最も高く、次いで要支援2が31.8%となっている。また、「施設等に入所（入居）したい」の割合は重度になるほど高くなる傾向にあり、要介護3～5は1割弱となっている。（図12-a）

【図12-a 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（要介護度別）】



介護者の有無別で見ると、いる・いないにかかわらず「特にない（現在利用しているサービスのみでよい）」が最も多く、介護者がいる人は54.0%、いない人は43.9%で、いる人のほうが10.1ポイント高くなっている。一方、「自宅で生活しながらサービスを受けたい」と「施設等に入所（入居）したい」の割合は、介護者の有無に大きな差はみられない。（図12-b）

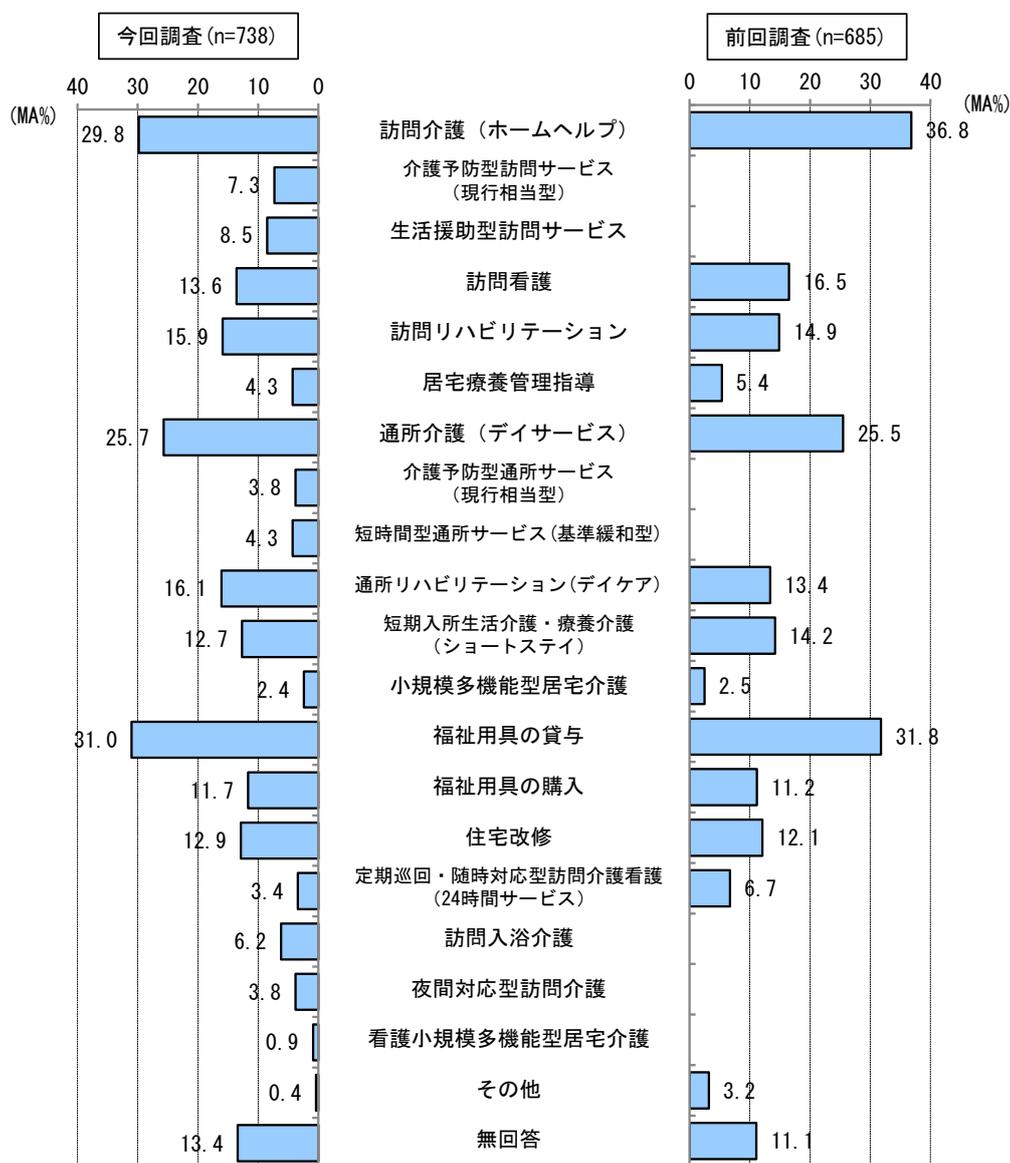
【図12-b 現在利用していない介護保険サービス及び介護予防サービスの利用意向（介護者の有無別）】



問12-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向

【問12で「1 自宅で生活しながらサービスを受けたい」と回答された方のみお答えください。】
 あなたが現在利用している介護保険サービス及び介護予防サービスとは別に、1年以内に利用
 したい介護保険サービス及び介護予防サービスについて、あてはまる番号すべてに○をつけて
 ください。(○はいくつでも)

【図12-1 現在利用していない居宅サービスの利用意向（経年比較）】



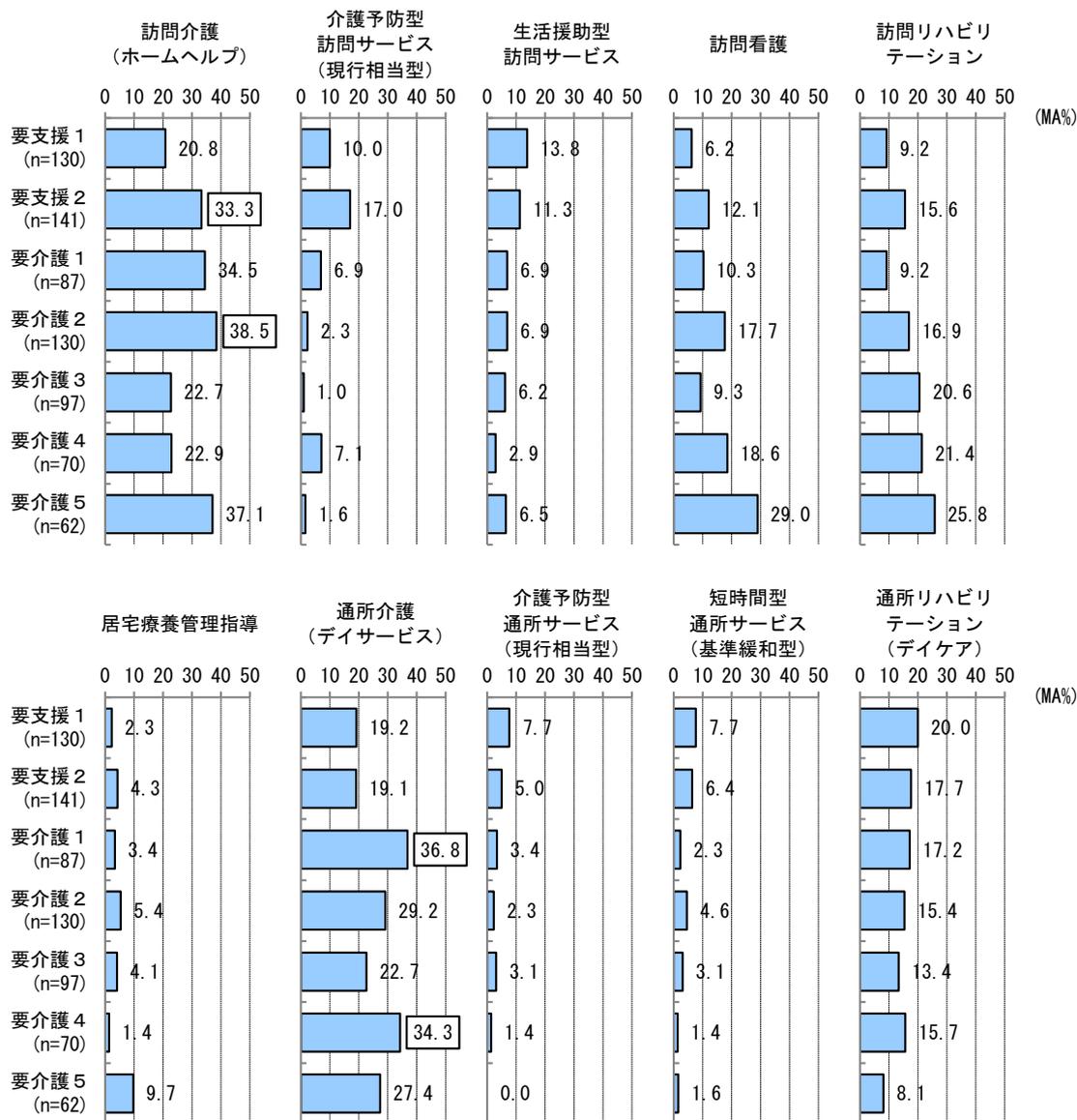
※「介護予防型訪問サービス（現行相当型）」「生活援助型訪問サービス」「介護予防型通所サービス（現行相当型）」
 「短時間型通所サービス（基準緩和型）」「訪問入浴介護」「夜間対応型訪問介護」「看護小規模多機能型居宅介護」
 は、今回調査の新規項目である。

自宅で生活しながらサービスを受けたいと回答した人に、現在利用していない居宅サービスで利用したいサービスをたずねると、「福祉用具の貸与」が31.0%で最も多く、次いで「訪問介護（ホームヘルプ）」が29.8%、「通所介護（デイサービス）」が25.7%となっている。

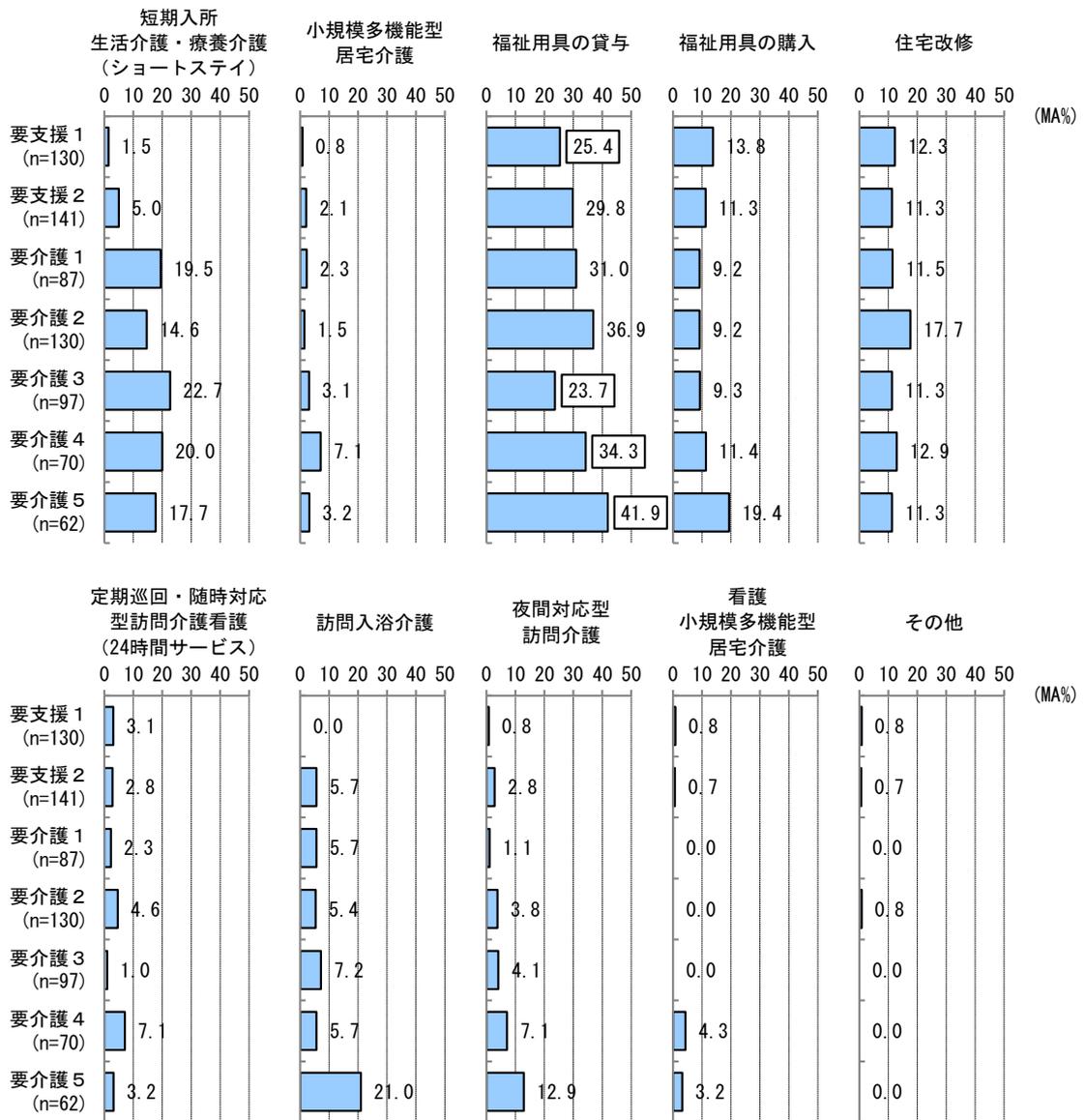
選択肢が異なるため一概には比較できないが、上記3つが多い傾向は変わらない。(図12-1)

要介護度別でみると、要支援1と要介護3～5は「福祉用具の貸与」、要支援2と要介護2は「訪問介護（ホームヘルプ）」が最も多くなっている。要介護1は「通所介護（デイサービス）」が最も多く、要介護4では同率で最も多い。また、重度になるほど「訪問リハビリテーション」の割合は高くなる傾向にあり、「通所リハビリテーション（デイケア）」の割合は低くなる傾向にある。（図12-1-a）

【図12-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）①】



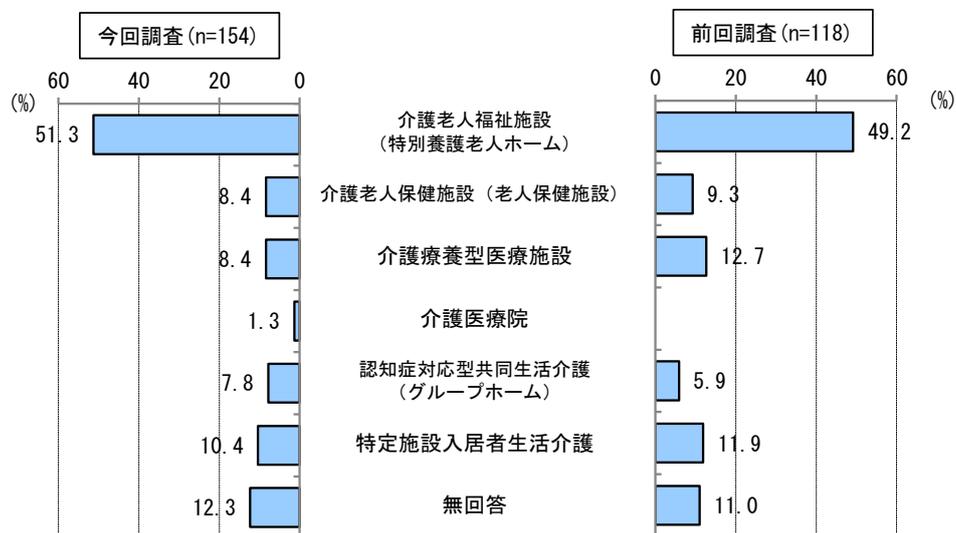
【図12-1-a 現在利用していない居宅サービスの利用意向（要介護度別）②】



問12-2 現在利用していない施設サービスの利用意向

【問12で「2 施設等に入所（入居）したい」と回答された方のみお答えください。
 あなたが現在利用している介護保険サービスとは別に、1年以内に利用したい介護保険サービスについて、あてはまる番号に○をつけてください。（○はひとつ）

【図12-2 現在利用していない施設サービスの利用意向（経年比較）】



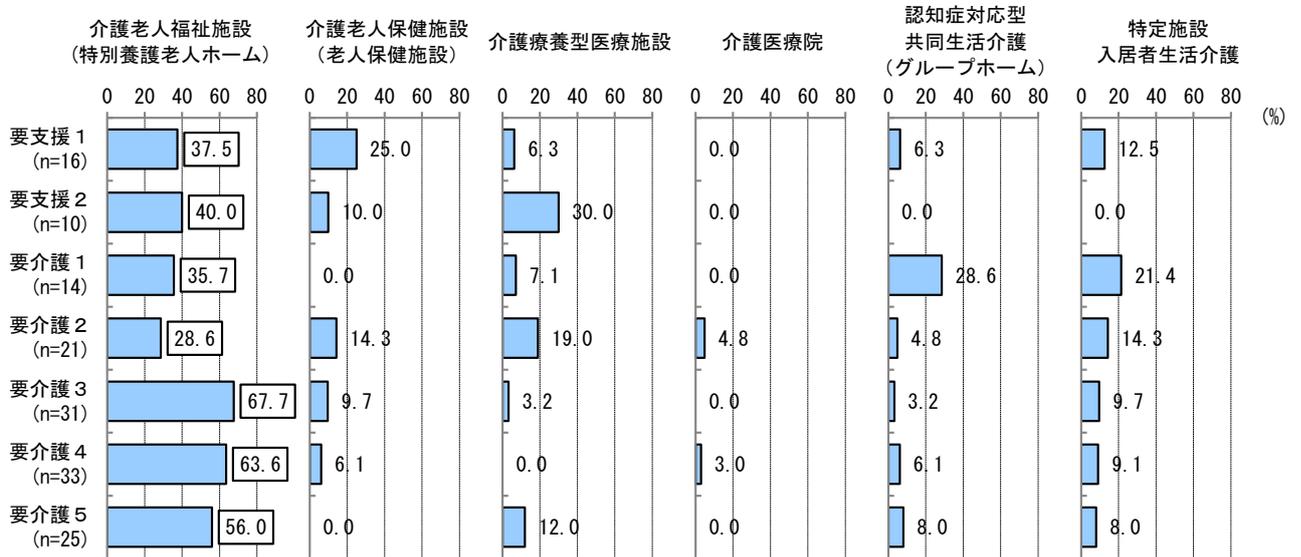
※「介護医療院」は、今回調査の新規項目である。

施設等に入所（入居）したいと回答した人に、現在利用していない施設サービスで利用したいサービスをたずねると、「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が51.3%、「特定施設入居者生活介護」が10.4%となっている。

前回調査と比較すると、「介護療養型医療施設」の割合が4.3ポイント低くなっている。（図12-2）

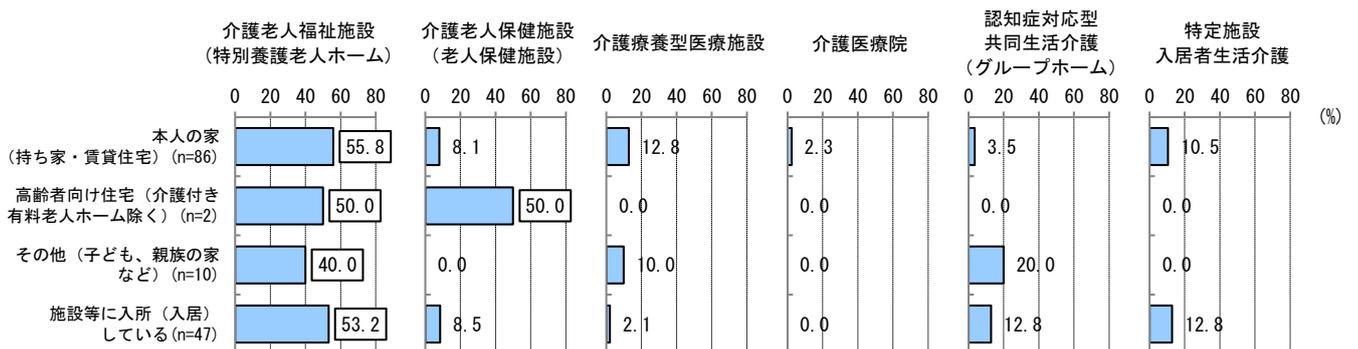
要介護度別でみると、母数が少ないので一概には言えないが、要介護度にかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多く、特に要介護3～5は5～6割台となっている。（図12-2-a）

【図12-2-a 現在利用していない施設サービスの利用意向（要介護度別）】



現在の住まい別でみると、住まいにかかわらず「介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）」が最も多くなっており、本人の家に住んでいる人は55.8%、施設等に入所（入居）している人は53.2%となっている。（図12-2-b）

【図12-2-b 現在利用していない施設サービスの利用意向（現在の住まい別）】

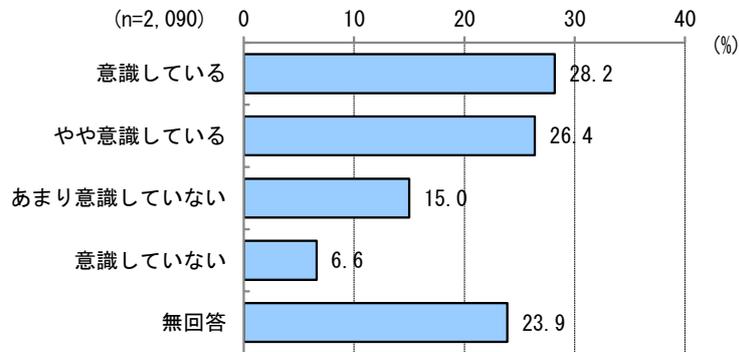


(5) 介護予防の取り組み

問13 介護予防に対する意識の程度

【自宅で介護保険サービスを利用されている方のみお答えください。】
あなたは、介護予防についてどれほど意識していますか。(〇はひとつ)

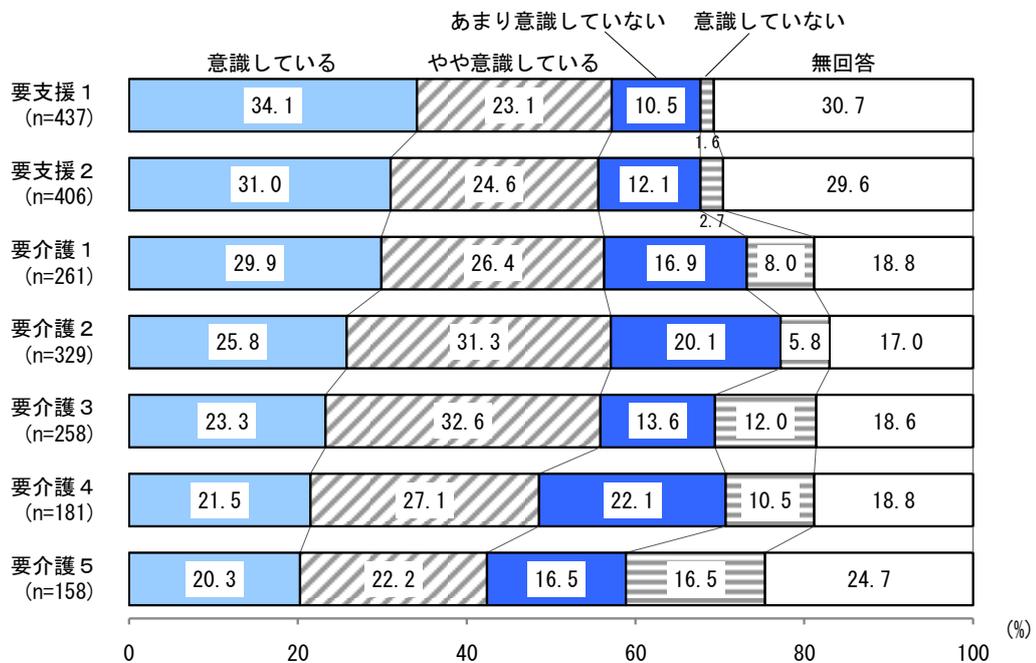
【図13 介護予防に対する意識の程度】



介護予防に対する意識の程度については、「意識している」が28.2%で最も多く、次いで「やや意識している」が26.4%となっており、両者を合わせると54.6%の人が介護予防に対して意識をしている。(図13)

要介護度別でみると、要介護度にかかわらず介護予防に対して意識をしている割合は多く、要支援1・2と要介護1～3は5割台を占めているが、「意識している」の割合は重度になるほど低くなる傾向にある。(図13-a)

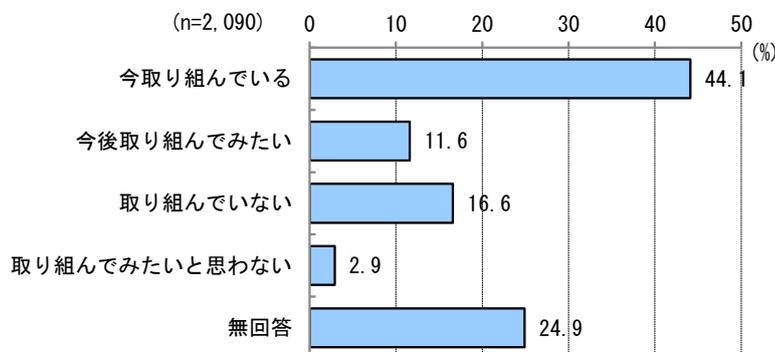
【図13-a 介護予防に対する意識の程度（要介護度別）】



問14 介護予防の取り組み状況

【自宅で介護保険サービスを利用されている方のみお答えください。】
 あなたは、介護予防に取り組んでいますか。(〇はひとつ)

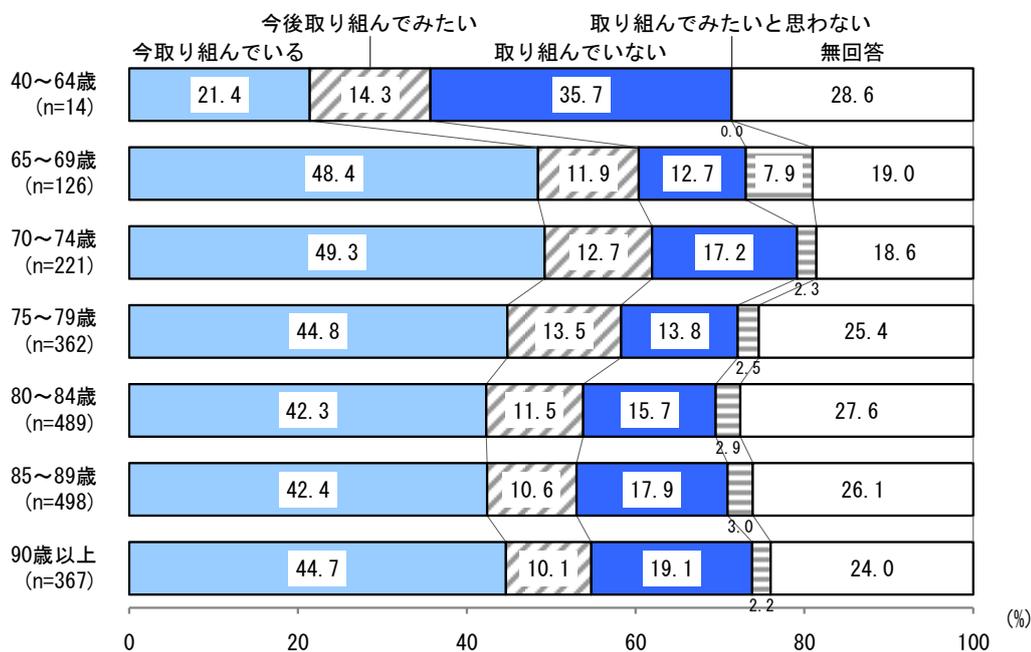
【図14 介護予防の取り組み状況】



介護予防の取り組み状況については、「今取り組んでいる」が44.1%で最も高く、次いで「取り組んでいない」が16.6%となっている。(図14)

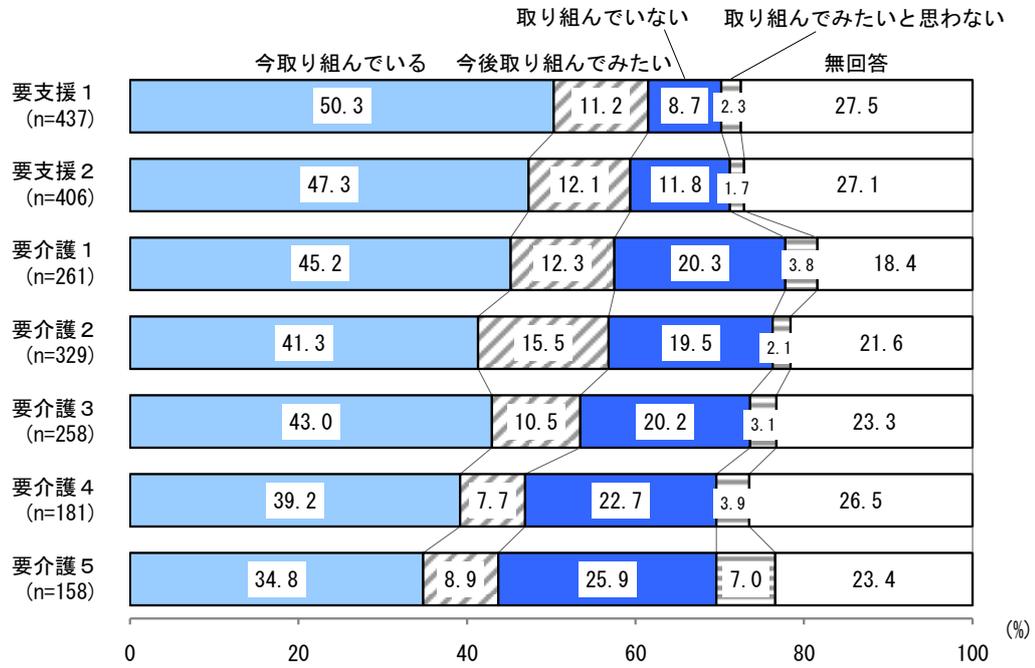
本人の年齢別で見ると、40～64歳は母数が少ないので一概には言えないが、「取り組んでいない」が35.7%（5人）で最も多くなっている。65歳以降の各年代では「今取り組んでいる」が4割台で最も多く、特に65～69歳と70～74歳は5割弱と高い割合になっている。(図14-a)

【図14-a 介護予防の取り組み状況（本人の年齢別）】



要介護度別で見ると、要介護度にかかわらず「今取り組んでいる」が最も多いが、重度になるほど割合が低くなる傾向にある。また、「今後取り組んでみたい」の割合は、いずれの要介護度も1割前後となっている。(図14-b)

【図14-b 介護予防の取り組み状況（要介護度別）】

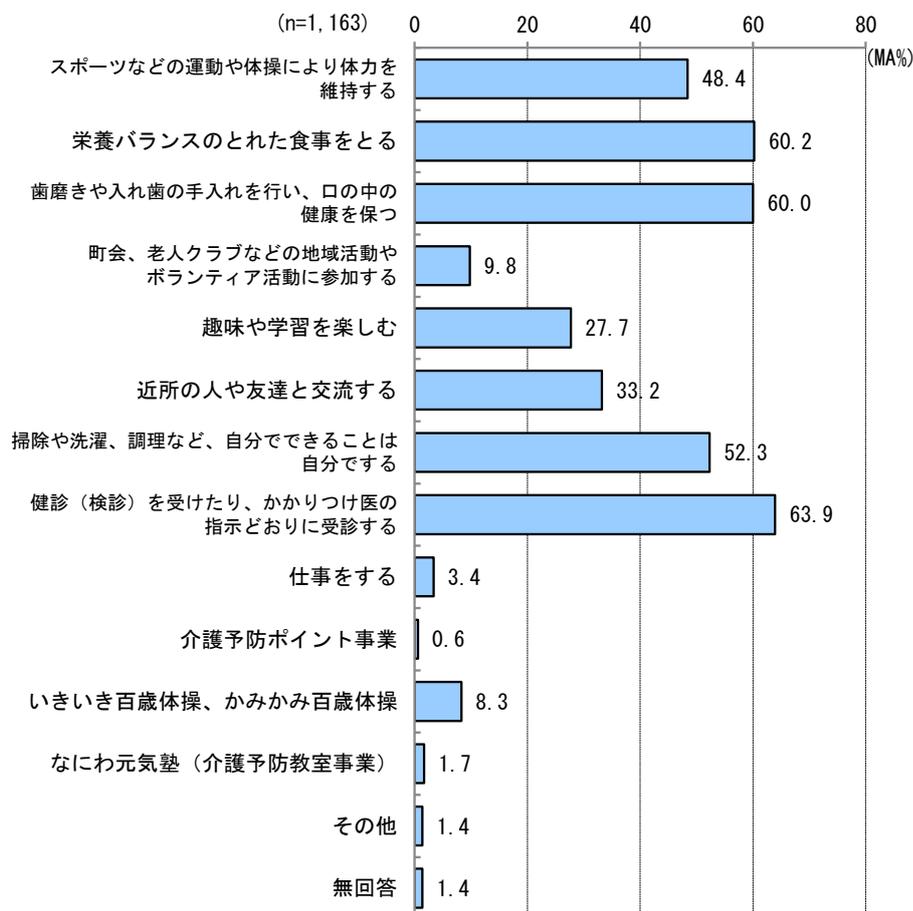


問14-1 取り組み意向のある介護予防

【問14で「1 今取り組んでいる」、「2 今後取り組んでみたい」と回答された方におうかがいします。】

あなたが、介護予防として、今取り組んでいること、または、今後取り組んでみたいことは何ですか。(〇はいくつでも)

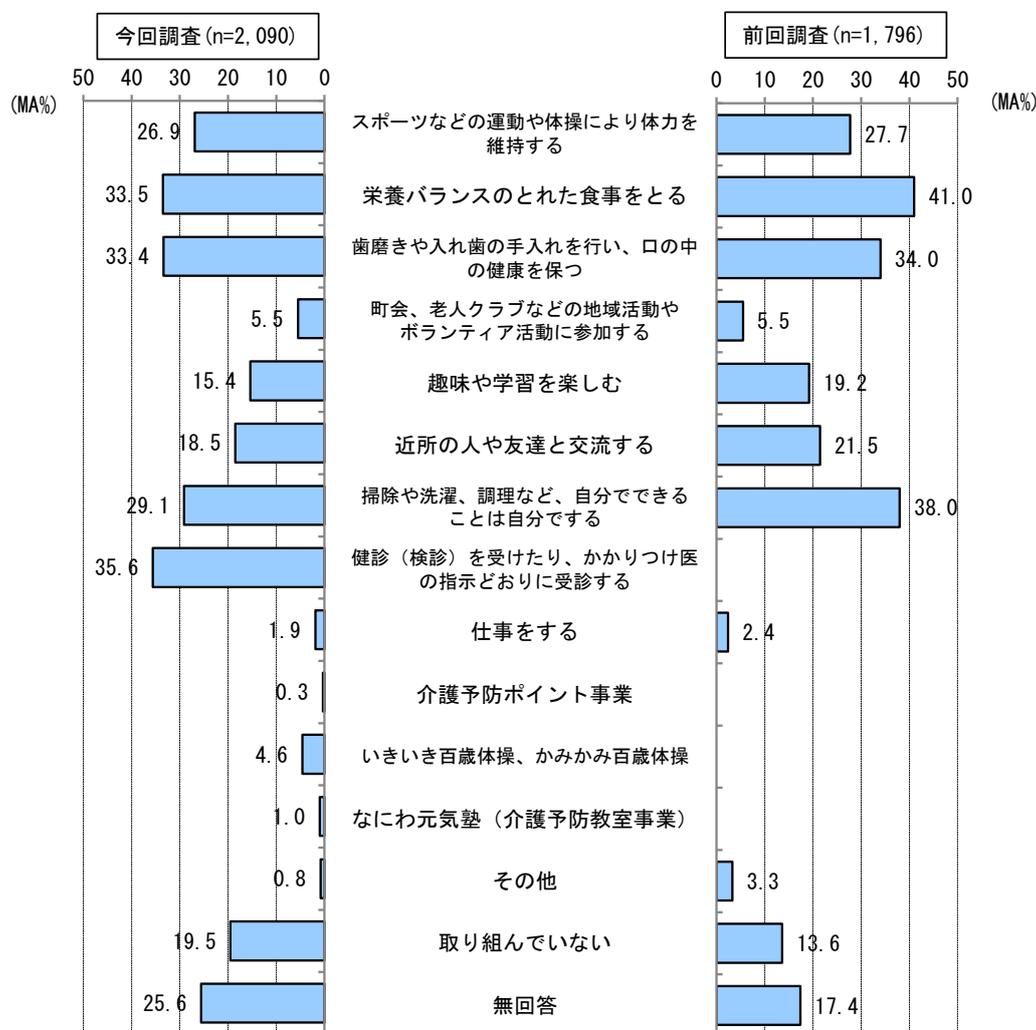
【図14-1 取り組み意向のある介護予防】



介護予防に、今取り組んでいる、または今後取り組んでみたいと回答した人に、今後取り組んでみたい介護予防をたずねると、「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」が63.9%で最も多く、次いで「栄養バランスのとれた食事をとる」が60.2%、「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が60.0%となっている。（図14-1）

前回調査では設問形式がことなるので一概に比較はできないが、参考としてみると、「取り組んでいない」の割合が5.9ポイント高くなっており、「栄養バランスのとれた食事をとる」と「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」の割合は低くなっている。(図14-1-a)

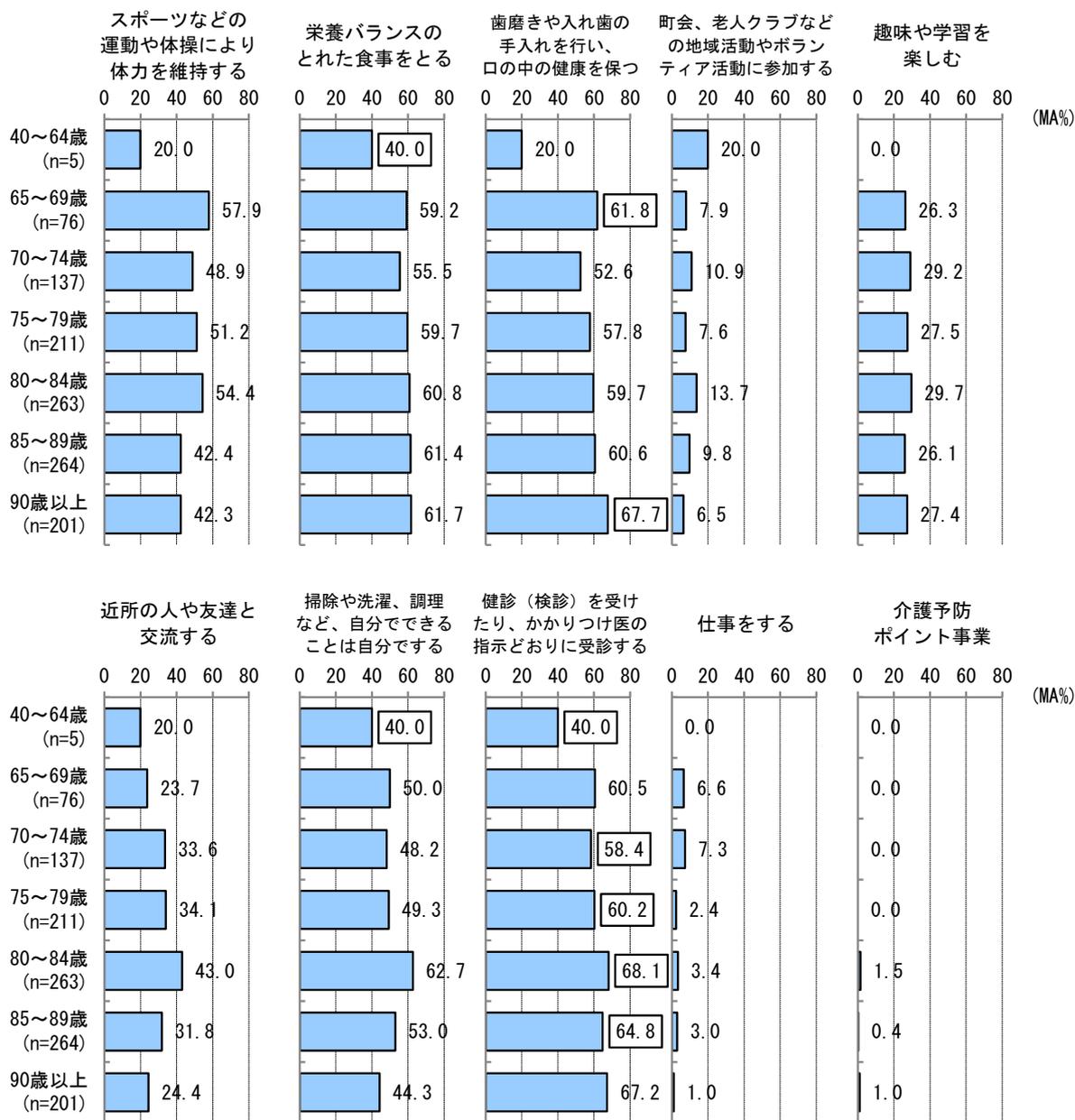
【図14-1-a 取り組み意向のある介護予防（経年比較）】



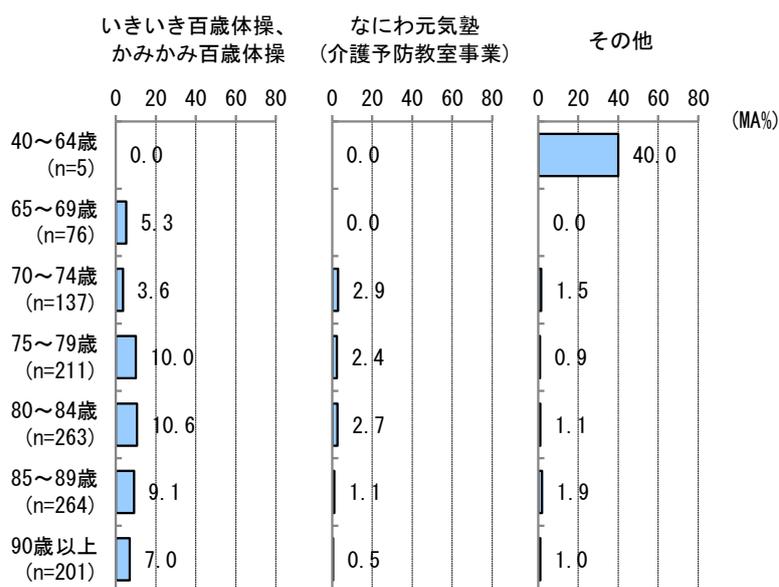
※「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」「介護予防ポイント事業」「いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操」「なにわ元気塾（介護予防教室事業）」は、今回調査の新規項目である。「取り組んでいない」は、今回調査の問14「3 取り組んでいない」と「4 取り組んでみたいと思わない」の和とする。

本人の年齢別で見ると、65～69歳と90歳以上は「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が最も多く、70～89歳の各年代では「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」が最も多くなっている。また、80～84歳では「近所の人や友達と交流する」（43.0%）と「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」（62.7%）が他の年代に比べて高い割合になっている。（図14-1-b）

【図14-1-b 取り組み意向のある介護予防（本人の年齢別）①】

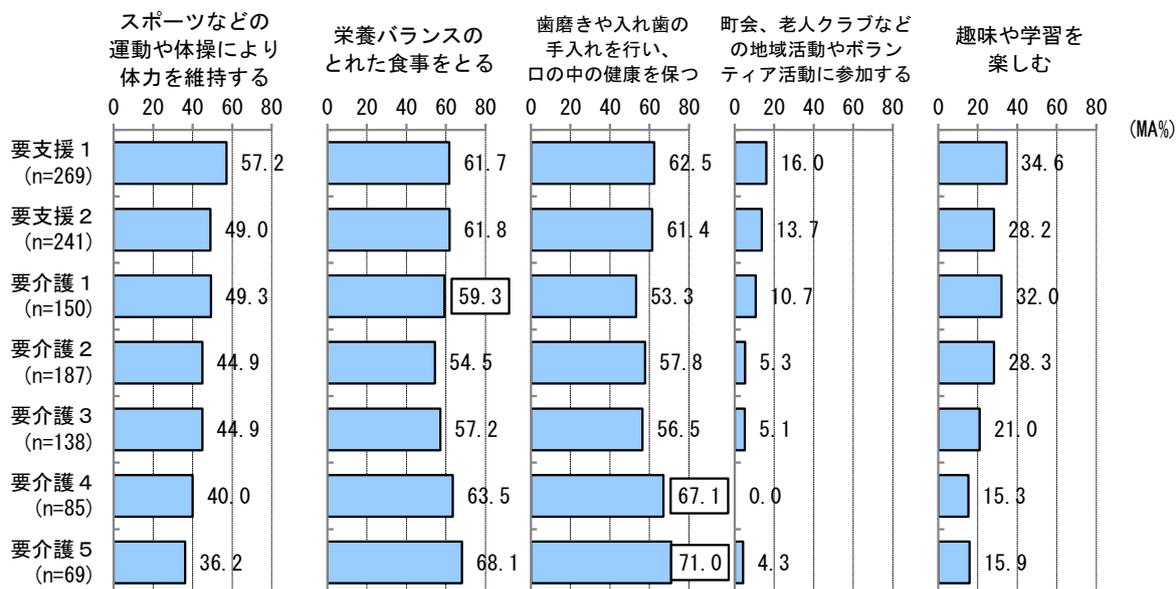


【図14-1-b 取り組み意向のある介護予防（本人の年齢別）②】

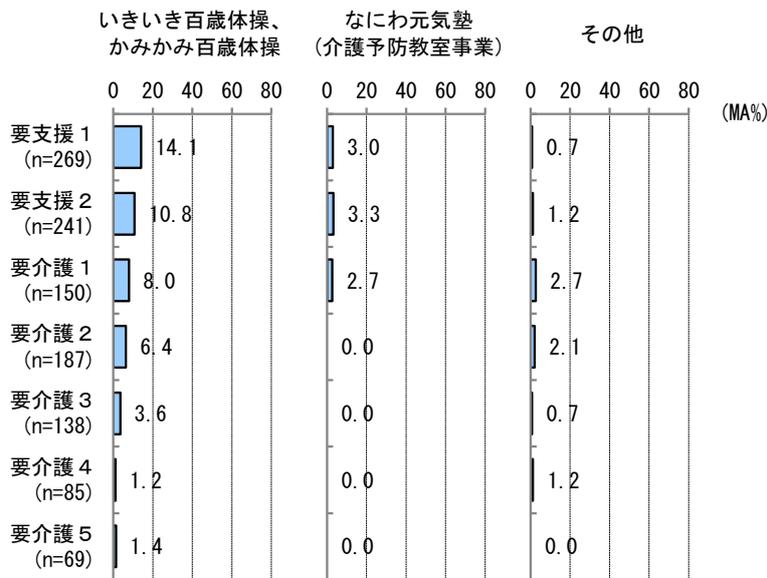
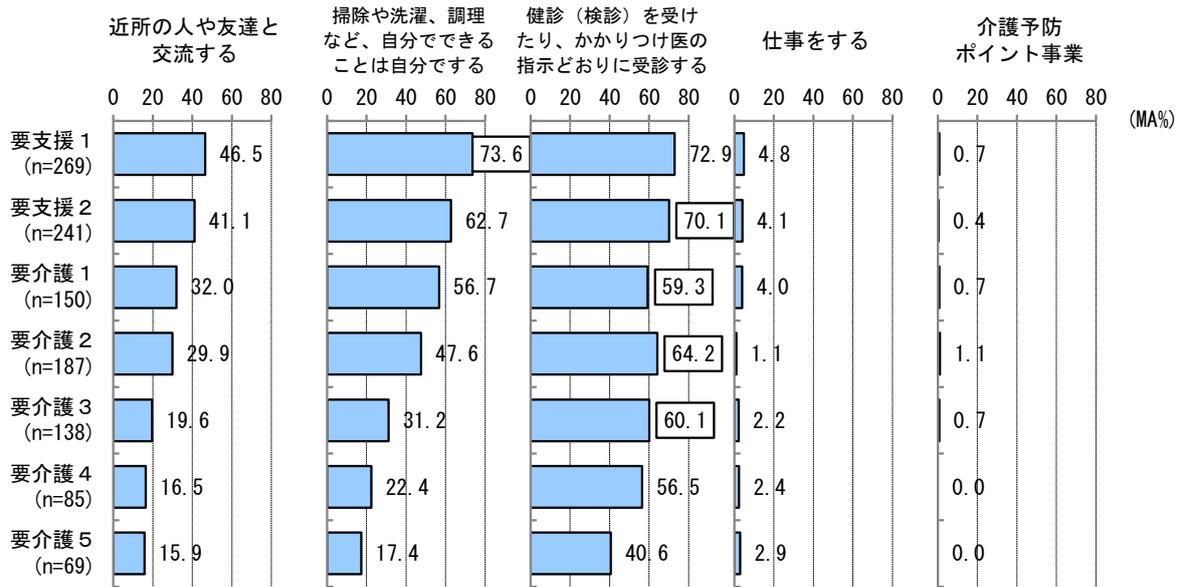


要介護度別で見ると、要支援1は「掃除や洗濯、調理など自分でできることは自分でする」、要支援2と要介護1～3は「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」、要介護1では同率で「栄養バランスのとれた食事をする」が、それぞれ最も多くなっている。また、重度になるほど「スポーツなどの運動や体操により体力を維持する」「町会、老人クラブなどの地域活動やボランティア活動に参加する」「趣味や学習を楽しむ」「近所の人や友達と交流する」「掃除や洗濯、調理など、自分でできることは自分でする」「健診（検診）を受けたり、かかりつけ医の指示どおりに受診する」「いきいき百歳体操、かみかみ百歳体操」の割合は低くなる傾向にあるが、要介護4・5では「歯磨きや入れ歯の手入れを行い、口の中の健康を保つ」が最も多く、他の要介護度に比べて高い割合になっている。（図14-1-c）

【図14-1-c 取り組み意向のある介護予防（要介護度別）①】



【図14-1-c 取り組み意向のある介護予防（要介護度別）②】

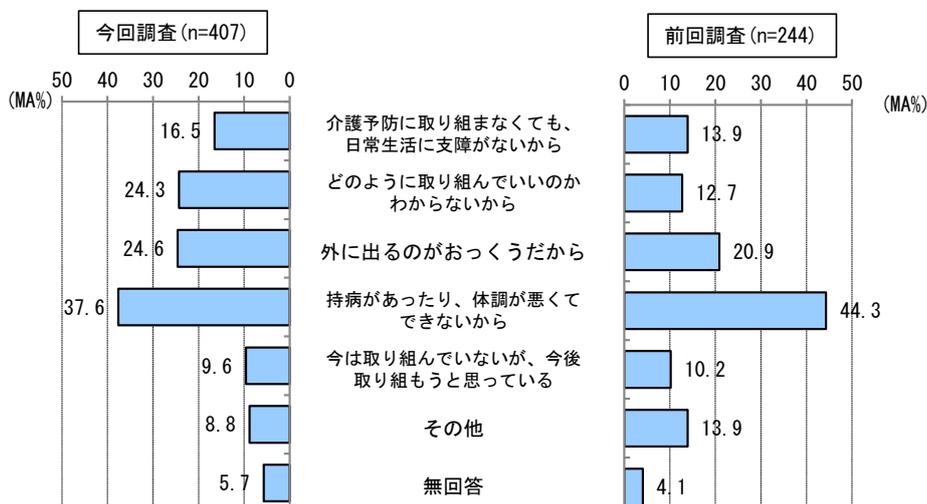


問14-2 介護予防の取り組みに意向がない理由

【問14で「3 取り組んでいない」「4 取り組んでみたいと思わない」と回答された方のみお答えください。】

あなたが、介護予防について、取り組んでいない、または、取り組んでみたいと思わない理由は何ですか。(〇はいくつでも)

【図14-2 介護予防の取り組みに意向がない理由（経年比較）】



介護予防に、取り組んでいない、または取り組んでみたいと思わないと回答した人に、その理由をたずねると、「持病があったり、体調が悪くてできないから」が37.6%、次いで「外に出るのがおっくうだから」が24.6%、「どのように取り組んでいいのかわからないから」が24.3%となっている。

前回調査と比較すると、「どのように取り組んでいいのかわからないから」の割合が11.6ポイント高くなっている。また「持病があったり、体調が悪くてできないから」の割合が6.7ポイント低くなっている。(図14-2)

要介護度別で見ると、要支援1は「どのように取り組んでいいのかわからない」、要支援2と要介護2～5は「持病があったり、体調が悪くてできないから」、要介護1は「外に出るのがおっくうだから」が、それぞれ最も多くなっている。一方、「今は取り組んでいないが、今後取り組もうと思っている」の割合は、要支援1・2と要介護2が1割台で、他の要介護度に比べて高い割合になっている。(図14-2-a)

【図14-2-a 介護予防の取り組みに意向がない理由（要介護度別）】

